

長崎に於ける原子爆弾  
傷害の統計的觀察

第四編

原子爆弾による  
放射線病に就て

長崎医科大学教授

調 來 助

第四編 原子爆彈=ヨル放射線病=就テ

長崎医科大学 外科第一教室	教授	調 來 助
同 外科第二教室	助教授	木 戸 利 一
同 解剖学教室	助教授	佐 藤 純 一 郎
同 内科学研究室	助教授	一 瀬 賢 吾
同 細菌学教室	助教授	高 橋 庄 四 郎

緒 言

余等、第三編=於テ述ベシ 原子爆彈罹災者 6000有餘人=ツキ 更ニ 放射線病ノ発生状況ヲ考察スルニ、茲ニ 述ベスル。

原子爆彈=ヨル放射線病ニ 中性子並ニ  $\gamma$ 線=ヨルニトナレシ。其症狀ニ 種々ナルガ。不確實ニ 十勝ノ項目ノ降キ次、11症狀=ツキ 統計ヲ行ハシトシ。即チ 嘔吐 (嘔吐バツ、嘔吐ツナカツキ)、嘔吐 (嘔吐上ニ=更ニ嘔吐ヲ伴フガ)、下痢、發熱、出血、脱毛、意識障礙、眩暈、頭痛、腹痛、嘔下痛、以上 11 症狀ガアル。

統計ニ 主トシテ 其頻度ヲ 調べルコトニシテ、2-3ノ 症狀=ツキ、其出現期ヲモ 調べタシ。又 頻度調査ニモツキ、距離別、年齢別、環境別、損傷別ニ 夫々 統計ヲトツ。

以下、其成績カアル

# 第一章 嘔気 = 就テ

## 第一節 嘔心ツリ / 距離ト 嘔気速度

第一表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0 ~ 1km	250	22	8.8	143	16	8.3	443	38	8.6
1 ~ 1.5	612	71	11.6	789	81	10.3	1401	152	10.9
1.5 ~ 2	352	20	5.7	506	18	3.6	858	38	4.4
2 ~ 3	744	39	5.2	990	39	3.9	1739	78	4.5
3 ~ 4	489	10	2.0	590	28	4.7	1079	38	3.5
計	2452	162		3068	182		5520	344	
4km外	55	2	3.6	173	0	0	228	2	0.9

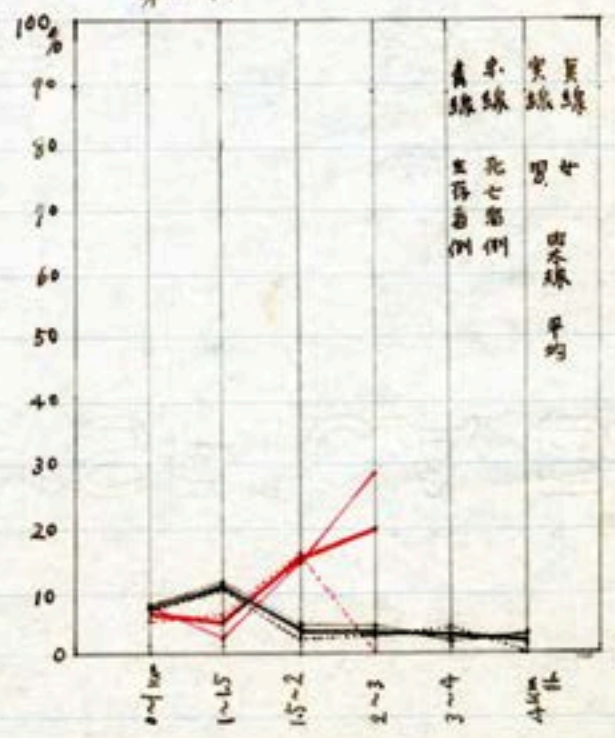
第二表 (死亡者例)

距離	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0 ~ 1km	99	8	8.1	93	6	6.5	192	14	7.3
1 ~ 1.5	45	1	2.2	60	4	6.7	105	5	4.8
1.5 ~ 2	14	2	14.3	12	2	16.7	26	4	15.4
2 ~ 3	7	2	28.6	3	0	0	10	2	20.0
計	165	13		168	12		333	25	

### 結果

嘔気トハ 嘔吐ヲ伴ハズ 嘔気ノ速ニシテツルガ  
 生存者ヲハ 1.5 km 迄ハ 割合 速度ガ高イ  
 ガ 2 km 以ニ上ニ至ルニ 割合 減少ガナリ。  
 死亡者ノ 嘔吐 嘔気 嘔吐ノ 嘔気トシテ  
 嘔気ノ 割合 減少ガナリ。  
 死亡者例ヲハ 近距離ニシテ 遠距離ニ  
 多クナリ。死亡者ノ 嘔吐 嘔気  
 ヲ伴フナリ。遠距離ニ至ルニ 割合  
 嘔吐ヲ伴ハズ 嘔気ノ 割合 減少ガナリ。  
 又生存者 死亡者 場合ト 割合ニ 大差ガ  
 ナリ。死亡者 嘔吐 嘔気トシテ 割合 減少ガ  
 ナリ。

第一回



## 第二節 年齢別 死亡、検査

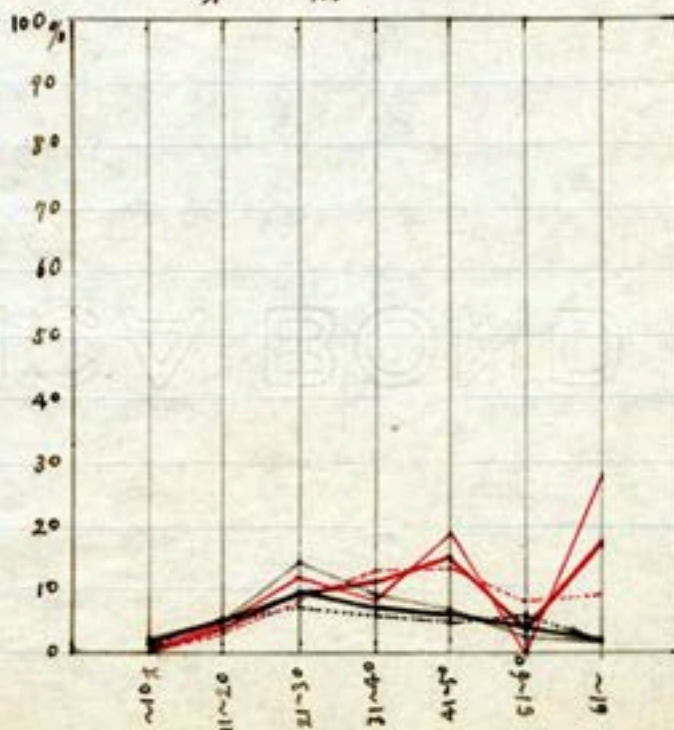
### 第三表 (生存者例)

年齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	257	6	2.3	258	2	0.8	515	8	1.6
11~20	1331	88	6.6	1608	107	6.7	2939	195	6.6
21~30	182	26	14.3	403	30	7.4	585	56	9.6
31~40	190	18	9.5	266	17	6.8	456	35	7.7
41~50	225	17	7.6	264	14	5.3	489	31	6.3
51~60	173	5	2.9	165	10	6.1	338	15	4.4
61~	94	2	2.1	104	2	1.9	198	4	2.0
計	2452	162		3068	182		5520	344	

### 第四表 (死亡者例)

年齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	25	0	0	18	0	0	43	0	0
11~20	57	3	5.3	52	2	3.9	109	5	4.6
21~30	27	3	11.1	34	3	8.8	61	6	9.8
31~40	12	1	8.3	16	2	12.5	28	3	10.7
41~50	16	3	18.8	22	3	13.6	38	6	15.8
51~60	17	0	0	14	1	7.1	31	1	3.2
61	11	3	27.3	12	1	8.3	23	4	17.4
計	165	13		168	12		333	25	

### 第五圖



### 結果

生存者中の中年/元々歳合多ク、幼  
児及老年=少ク、然レ其間=餘大差  
ハナイ。

死亡者中の 老年=元々歳合多ク、  
ナツテ中ヨウガ、然レ元々歳大差ハナイ。  
又生存者ト死亡者ト、間ニ目立ッ  
程ノ差異ガナイ

### 第三節 環境別 呼吸、頻度

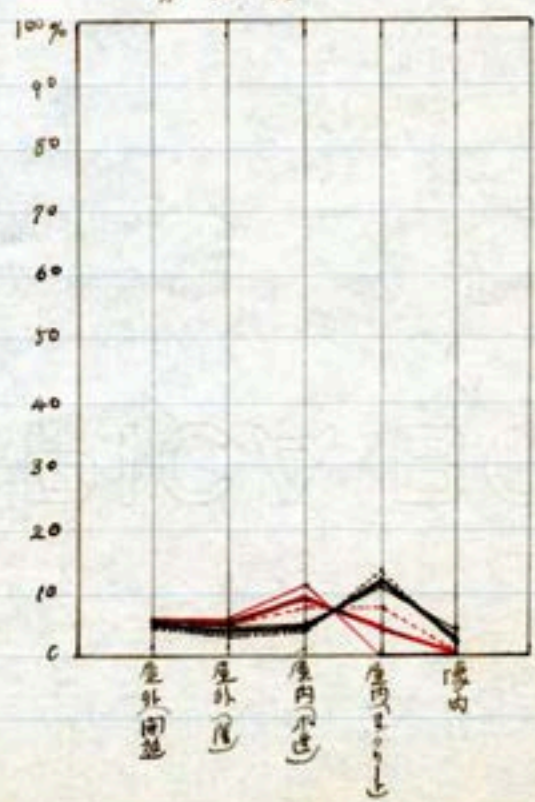
第五表 (生存者例)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外 (開放)	286	19	6.6	259	15	5.8	545	34	6.2
" (閉)	368	19	5.2	306	13	4.2	674	32	4.7
屋内 (不送)	1331	82	6.2	1867	106	5.7	3198	188	5.9
" (24時間)	337	36	10.7	439	44	12.3	776	80	12.3
家内	130	6	4.6	197	4	2.0	327	10	3.0
計	2452	162	6.7	3068	182	5.9	5520	344	6.2

第六表 (死亡者例)

	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外 (開放)	32	2	6.3	36	2	5.6	68	4	6.0
" (閉)	15	1	6.7	18	1	5.6	33	2	6.1
屋内 (不送)	96	10	10.4	88	7	8.0	184	17	9.2
" (24時間)	19	0	0	25	2	8.0	44	2	4.5
家内	3	0	0	1	0	0	4	0	0
計	165	13	7.9	168	12	7.1	333	25	7.5

第三圖



#### 結果

生存者、死亡者共、屋内 = 最多、か  
 最も呼吸、頻度が高、然し  
 其他、死亡者 = 大差ナ、且つ生存者  
 死亡者ト、同、死因 = 極メテ 僅少ナル。

第四節 損傷別 呼吸、速度

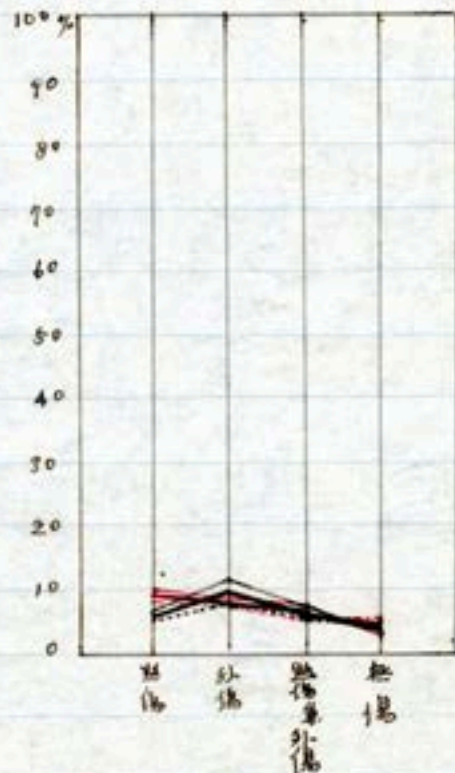
第七表 (生存者例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
熱傷	393	29	7.4	362	22	6.1	755	51	6.7
外傷	798	88	11.0	921	72	7.8	1719	160	9.2
熱傷兼外傷	115	9	7.8	112	7	6.3	227	16	7.0
無傷	1146	36	3.2	1673	81	4.8	2819	117	4.0
計	2452	162		3068	182		5520	344	

第八表 (死亡者例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
熱傷	40	4	10.0	46	4	8.7	86	8	9.3
外傷	57	5	8.8	55	4	7.3	112	9	8.0
熱傷兼外傷	25	3	8.6	33	2	6.1	68	5	7.4
無傷	33	1	3.0	34	2	5.9	67	3	4.5
計	165	13		168	12		333	25	

第四圖



結果

生存者に於て外傷、場合ニ多イ様ヲ  
 アルカ、各損傷間ニ大ニ見異  
 認ナシトシ、生存者、死亡者間ニモ  
 大見ハナイ。  
 即チ呼吸、原子爆弾為ニトツテ  
 大ナル危険ヲ有スルニシテ、即チ  
 此ニトツテニ想像ナレル。

第五節 嘔乳 / 出現期

第九表 (男, 北已名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 / 1	3	37.5	0	0	1	50.0	0	0	4	30.8
当日 2 翌日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当日 3 翌日 4 翌日	4	50.0	0	0	0	0	0	0	4	30.8
翌日 2-1 週以内 出現	0	0	1	100.0	0	0	0	0	1	7.7
第 2 週 = 出現	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 3 週 = " "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 4 週 以後 = " "	0	0	0	0	0	0	1	50.0	1	7.7
不 詳	1	12.5	0	0	1	50.0	1	50.0	3	22.1
計	8		1		2		2		13	

第十表 (女, 北已名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 / 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当日 2 翌日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当日 3 翌日 4 翌日	2	33.3	1	25.0	1	50.0	0	0	4	33.3
翌日 2-1 週以内 出現	2	33.3	1	25.0	1	50.0	0	0	4	33.3
第 2 週 = 出現	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 3 週 = " "	1	16.7	0	0	0	0	0	0	1	8.3
第 4 週 以後 = " "	0	0	2	50.0	0	0	0	0	2	16.7
不 詳	1	16.7	0	0	0	0	0	0	1	8.3
計	6		4		2		0		12	

第十一表 (男, 女合計, 北已名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 / 1	3	21.4	0	0	1	25.0	0	0	4	16.0
当日 2 翌日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当日 3 翌日 4 翌日	6	42.9	1	20.0	1	25.0	0	0	8	32.0
翌日 2-1 週以内 出現	2	14.3	2	40.0	1	25.0	0	0	5	20.0
第 2 週 = 出現	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 3 週 = " "	1	7.1	0	0	0	0	0	0	1	4.0
第 4 週 以後 = " "	0	0	2	40.0	0	0	1	50.0	3	12.0
不 詳	2	14.3	0	0	1	25.0	1	50.0	4	16.0
計	14		5		4		2		25	

結果

北已の早期 = 嘔乳 1/17 例 1 例 = 当日 = 20% 2/1 0 3 例 占 1.1 週  
 北已内 = 出現 北已内 合計 約 70% 占 1.1 週。生後 1 週 嘔乳 北已内 出現 北已内 占 1.1 週

## 第二章 嘔吐 = 乾下

### 第一節 距離別 嘔吐 / 頻度

第十一表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	250	77	30.8	193	68	35.2	443	145	32.7
1~1.5	612	134	21.9	789	288	36.5	1401	422	30.1
1.5~2	352	39	10.5	506	60	11.8	858	99	11.3
2~3	749	45	6.0	990	62	6.3	1739	107	6.2
3~4	489	22	4.5	590	33	5.6	1079	55	5.1
計	2452	315	12.8	3068	511	16.7	5520	826	15.0
4km外	55	0	0	173	3	1.7	228	3	1.3

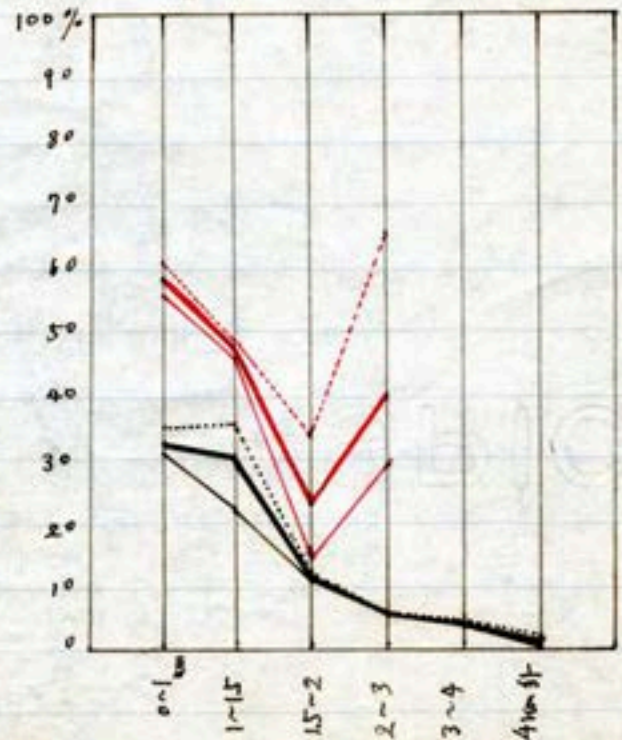
第十三表 (死亡者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	99	56	56.6	93	56	60.2	192	112	58.3
1~1.5	45	21	46.7	60	29	48.3	105	50	47.6
1.5~2	14	2	14.3	12	4	33.3	26	6	23.1
2~3	7	2	28.6	3	2	66.7	10	4	40.0
計	165	81		168	91		333	172	51.6

### 結果

- 生存者、死亡者共に、距離離程頻度が大なり。距離が大ナリ程減少スル。死亡者例が2~3kmノ2ノカ大ナリハ例数が少イヲ、誤差ト思ハル。
- 生存者例ト死亡者例ト、間ニ頻度、及カ着テイハ放射線病カ重症ヲプルハル程嘔吐ノ頻度高シトシテ意味スルニシテ、本症ノ症状トシテ大ニ意味ヲ持ツモテプルコトナリ。
- 一般ニ女ハ男ニシテ高率ヲ示ス。

第五圖





第二節 年齡別 嘔吐ノ頻度

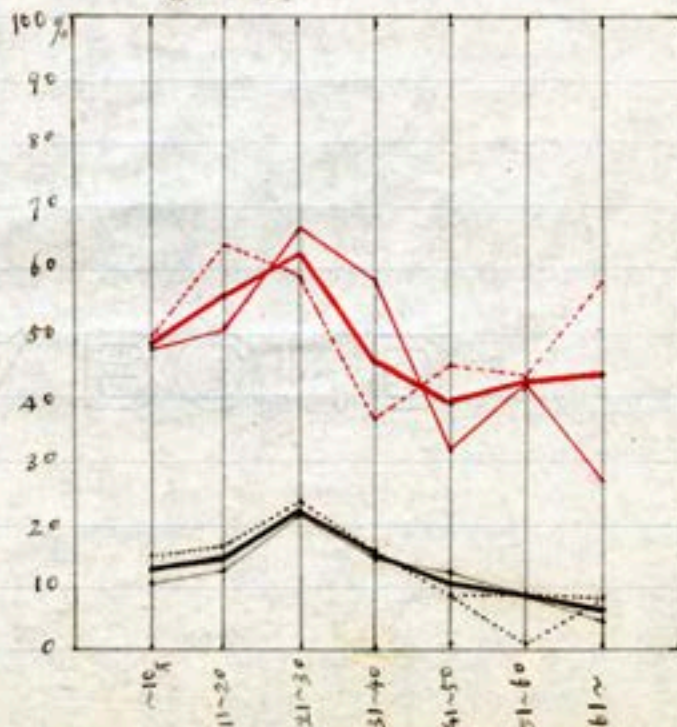
第十四表 (生存者例)

年齡	男			女			計		
	例數	例數	%	例數	例數	%	例數	例數	%
0-10才	257	28	10.9	258	42	16.3	515	70	13.6
11-20	1331	172	12.9	1608	281	17.5	2939	453	15.4
21-30	182	39	21.4	403	93	23.1	585	132	22.6
31-40	190	27	14.2	266	45	16.9	456	72	15.8
41-50	225	29	12.9	264	24	9.1	489	53	10.8
51-60	173	16	9.2	165	16	9.7	338	32	9.5
61~	74	4	4.2	104	10	9.6	198	14	7.1
計	2452	315		3068	511		5520	826	

第十五表 (死亡者例)

年齡	男			女			計		
	例數	例數	%	例數	例數	%	例數	例數	%
~10才	25	12	48.0	18	9	50.0	43	21	48.8
11-20	57	29	50.9	52	33	63.5	109	62	56.9
21-30	29	18	66.7	34	20	58.9	61	38	62.3
31-40	12	7	58.3	16	6	37.5	28	13	46.4
41-50	16	5	31.3	22	10	45.5	38	15	39.5
51-60	17	7	41.2	14	6	42.9	31	13	41.9
61~	11	3	27.3	12	7	58.3	23	10	43.5
計	165	81		168	91		333	172	

第六圖



結果

- 生存者ニ死亡者ノ 21-30才ノ 壯年層ニ嘔吐ノ頻度ハ高シ。 老人ニハ漸次ニ減少スル。 敏感度、相異。此ノト思ハル。
- 死亡者ノ頻度ハ生存者ノ場合ニ著シク高率ヲ示ス。

## 第二章 環境別 嘔吐ノ頻度

第十六表 (生存者例)

環境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外(開放)	286	41	14.3	259	49	18.9	545	90	16.5
〃(陰)	368	36	9.8	306	35	11.4	674	71	10.5
屋内(木造)	1331	184	13.8	1867	295	15.8	3198	479	15.0
〃(コンクリート)	339	49	14.5	439	125	28.5	778	174	22.2
場内	130	5	3.8	197	7	3.6	327	12	3.7
計	2452	315		3068	511		5520	826	

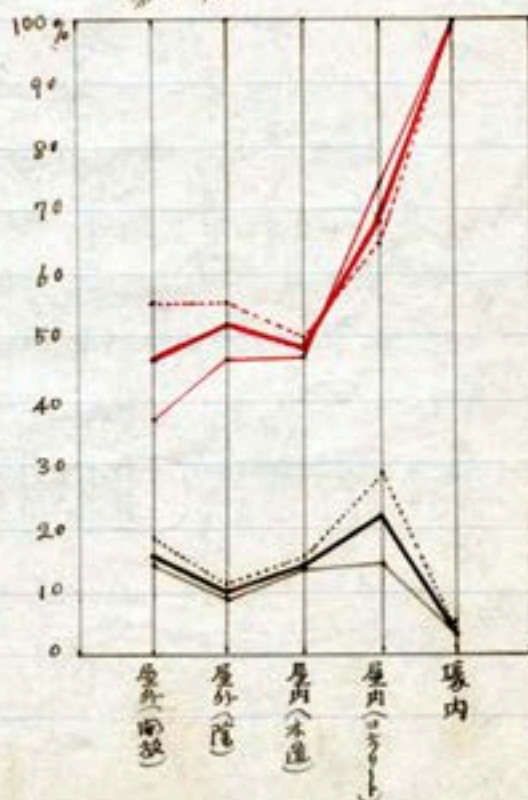
第十七表 (死亡者例)

環境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外(開放)	32	12	27.5	36	20	55.6	68	32	47.8
〃(陰)	15	7	46.7	18	10	55.6	33	17	51.5
屋内(木造)	96	45	46.9	88	44	50.0	184	89	48.4
〃(コンクリート)	19	14	73.7	25	16	64.0	44	30	68.2
場内	3	3	100.0	1	1	100.0	4	4	100.0
計	165	81		168	91		333	172	

## 結果

- 1) 一般に女ノ男ヨリ嘔吐ノ頻度ガ高シ、患者性ノ隔イラズアリ。
- 2) 「コンクリート」屋内ノハ、高率ヲ示シ、4人ノ奇襲ノ盛ナリ。
- 3) 死亡者ノ頻度・生存者ノ比ヨリ、遙カ高シ。

第七回



### 第四節 損傷別 死亡頻度

第十八表 (生存者例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
熱傷	393	56	14.2	362	78	21.5	755	134	17.7
外傷	798	138	17.3	921	232	25.2	1719	370	21.5
熱傷兼外傷	115	24	20.9	112	45	40.2	227	69	30.4
無傷	1146	97	8.5	1673	156	9.3	2819	253	8.9
計	2452	315		3068	511		5520	826	

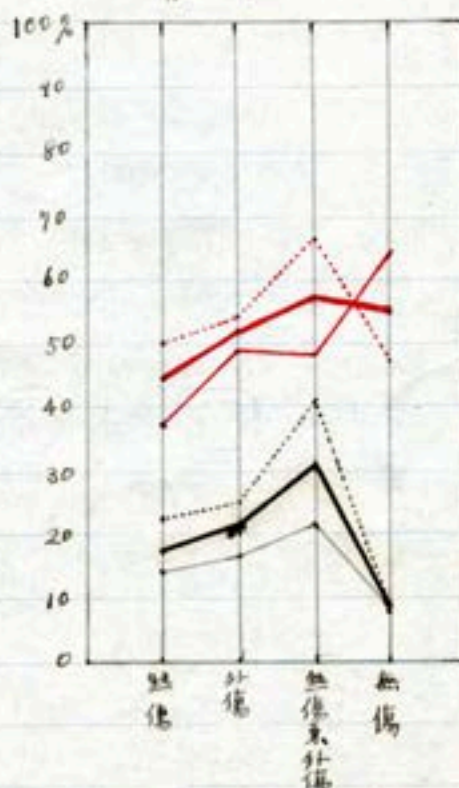
第十九表 (死亡者例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
熱傷	41	15	37.5	46	23	50.0	86	38	44.2
外傷	57	28	49.1	55	30	54.5	112	58	51.8
熱傷兼外傷	35	17	48.6	33	22	66.7	68	39	57.3
無傷	33	21	63.6	34	16	47.1	67	37	55.2
計	165	81		168	91		333	172	

### 結果

- 1) 生存者中の熱傷兼外傷が最も頻度が高く、無傷が最も低い
- 2) 死亡者中にも熱傷兼外傷が頻度最高であるが、無傷の次に高率で熱傷の頻度が最も低くなる
- 3) 女は男より頻度が高い
- 4) 死亡者・生存者ともに頻度が高い

第八圖



第三章 呕吐、出现期

第二十表 (男、儿七后)

出现期	0-1km		1-1.5		1.5-2		2-3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 / 三	12	21.4	7	32.3	0	0	0	0	19	23.5
当日 2 翌日	5	8.9	5	22.8	1	50.0	0	0	11	13.6
当日 3 翌日 4 翌日 5 翌日	11	19.6	4	19.0	0	0	0	0	15	18.5
翌日 2-1 週以内 出现	18	32.1	2	9.5	0	0	1	50.0	21	25.9
第 2 週 - 出现	2	3.6	0	0	0	0	0	0	2	2.5
第 3 週 - "	2	3.6	0	0	1	50.0	0	0	3	3.7
第 4 週以后 - "	1	1.8	2	9.5	0	0	1	50.0	4	4.9
不 詳	5	8.9	1	4.8	0	0	0	0	6	7.4
計	56		21		2		2		81	

第二十一表 (女、儿七后例)

出现期	0-1km		1-1.5		1.5-2		2-3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 / 2	8	14.3	6	20.7	1	25.0	0	0	15	16.5
当日 2 翌日	2	3.5	5	17.2	1	25.0	0	0	8	8.8
当日 3 翌日 4 翌日 5 翌日	19	33.9	8	27.6	0	0	0	0	27	29.7
翌日 2-第 1 週以内 出现	22	37.3	1	3.5	2	50.0	0	0	25	27.5
第 2 週 - 出现	1	1.8	1	3.5	0	0	0	0	2	2.2
第 3 週 - "	0	0	1	3.5	0	0	1	50.0	2	2.2
第 4 週以后 - "	0	0	4	13.8	0	0	0	0	4	4.4
不 詳	4	7.2	3	10.4	0	0	1	50.0	8	8.8
計	56		29		4		2		91	

第二十二表 (男女合計、儿七后例)

出现期	0-1km		1-1.5		1.5-2		2-3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 / 2	20	17.4	13	26.0	1	16.7	0	0	34	17.8
当日 2 翌日	7	6.3	10	20.0	2	33.3	0	0	19	11.0
当日 3 翌日 4 翌日 5 翌日	30	26.8	12	24.0	0	0	0	0	42	24.4
翌日 2-第 1 週内 出现	40	35.7	3	6.0	2	33.3	1	25.0	46	26.7
第 2 週 - "	3	2.7	1	2.0	0	0	0	0	4	2.3
第 3 週 - "	2	1.8	1	2.0	1	16.7	1	25.0	5	2.9
第 4 週以后 - "	1	0.9	6	12.0	0	0	1	25.0	8	4.7
不 詳	9	8.0	4	8.0	0	0	1	25.0	14	8.1
計	112		50		6		4		172	

結果

呕吐初期 = 出现期。 第 1 週以内 = 初起期, 82% / 第 2 週内。

男女間、差無。 距離別、ハ、近距離程 早期 = 出現ルヤウナル。

# 第三章 下痢 = 就于

## 第一節 距離別 下痢 / 頻度

第二十三表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1 km	250	101	40.4	193	71	36.8	443	172	38.8
1~1.5	612	247	40.4	789	353	44.7	1401	600	42.8
1.5~2	352	120	34.1	506	170	33.6	858	290	33.8
2~3	749	225	30.0	490	298	30.1	1239	523	30.1
3~4	489	102	20.9	590	154	26.1	1079	256	24.0
計	2452	795	32.4	3068	1046	34.1	5520	1841	33.3
4km 外	55	11	20.0	173	19	11.0	228	30	13.2

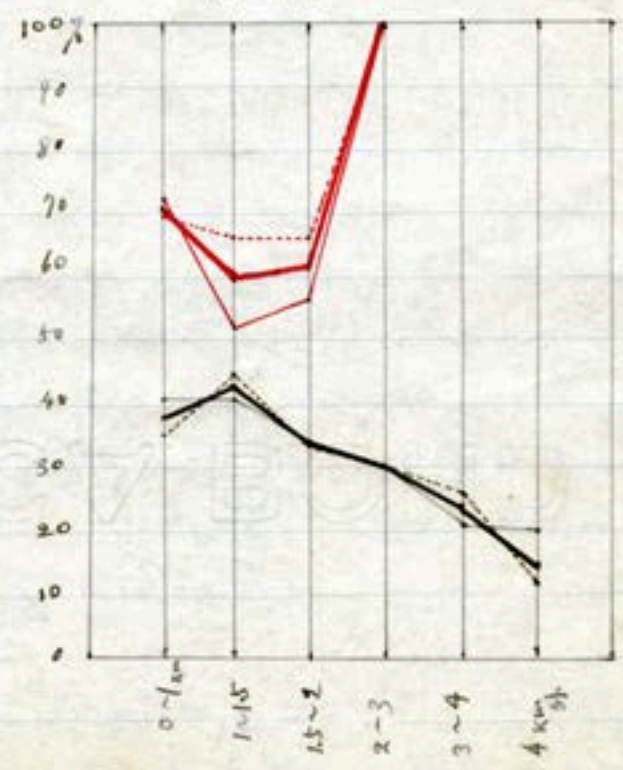
第二十四表 (死亡者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1 km	99	71	71.7	93	65	69.9	192	136	70.8
1~1.5	45	23	51.1	60	40	66.7	105	63	60.0
1.5~2	14	8	57.1	12	8	66.7	26	16	61.5
2~3	7	7	100.0	3	3	100.0	10	10	100.0
計	165	109		168	116		333	225	67.6

### 結果

- 1) 近距離の頻度高く遠距離に比べると低い。但 4km 外に離れて全く零にはなっていない。普通 / 健康人は夏季中 = 一回位下痢をするらしい。= 基因 によるものらしい。
- 2) 死亡例では 2~3 km が 100% かつ 4km 外 26% 例数、少ない。= 2~3 km 以外は 27% 以下。或は下痢 = 27% 死亡の比率を 27% 以上が出来る。
- 3) 死亡者の生存者の頻度高く。原子爆弾に汚染下痢の少くは意識的に行き入る。

第二圖



第二章 年齡別下痢、頻度

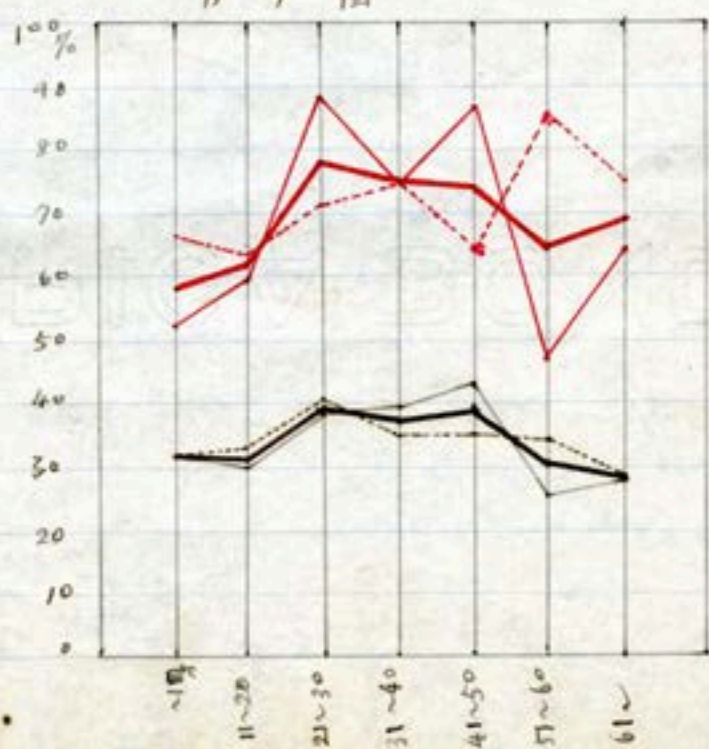
第二十五表 (生白者160)

年齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	257	82	31.9	258	82	31.8	515	164	31.8
11~20	1331	399	30.0	1608	528	32.8	2939	927	31.5
21~30	182	70	38.5	403	162	40.2	585	232	39.7
31~40	190	75	39.5	266	94	35.3	456	169	37.1
41~50	225	96	42.7	264	93	35.2	489	189	38.7
51~60	173	46	26.6	165	57	34.5	338	103	30.5
61~	94	27	28.7	104	30	28.8	198	57	28.8
計	2452	795		3068	1046		5520	1841	

第二十六表 (死亡者100)

年齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	25	13	52.0	18	12	66.7	43	25	58.1
11~20	57	34	59.7	52	33	63.5	109	67	61.5
21~30	27	24	88.9	34	24	70.6	61	48	78.7
31~40	12	9	75.0	16	12	75.0	28	21	75.0
41~50	16	14	87.5	22	14	63.6	38	28	73.7
51~60	17	8	47.1	14	12	85.7	31	20	64.5
61~	11	7	63.6	12	9	75.0	23	16	69.6
計	165	109		168	116		333	225	

第二十七圖



結果

- 1) 生白者に死亡者に比し、年齢が低い。
- 2) 男女の差は、41才以下。
- 3) 死亡者、頻度の生白者より、遙かに大なり。

### 第三節 環境別下病ノ頻度

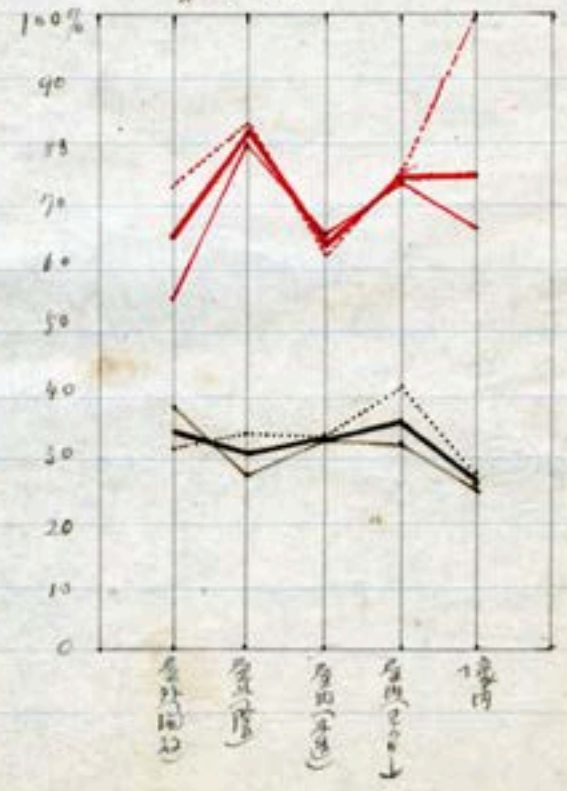
第二十七表 (北七省例)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外(開放)	266	110	38.5	259	81	31.3	545	191	35.0
"(陰)	368	102	27.9	306	106	34.6	674	208	30.9
屋内(木造)	1331	440	33.1	1867	623	33.4	3198	1063	33.2
"(瓦葺)	337	110	32.6	439	181	41.2	776	291	37.2
境内	130	33	25.4	197	55	27.9	327	88	26.8
計	2452	795		3068	1046		5520	1841	

第二十八表 (北七省例)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外(開放)	32	18	56.3	36	26	72.2	68	44	65.7
"(陰)	15	12	80.0	18	15	83.3	33	27	81.8
屋内(木造)	96	63	65.6	88	55	62.5	184	118	64.1
"(瓦葺)	19	14	73.7	25	19	76.0	44	33	75.0
境内	3	2	66.7	1	1	100.0	4	3	75.0
計	165	109		168	116		333	225	

第十一圖



#### 結果

- 1) 生存者ノ各環境ノ感染率ノ比較。
- 2) 北七省ノ屋外陰、瓦葺ノ屋内、境内等處ニ於テ感染率ノ高率ヲ示スヤシクナル。例数ガ少イヲ断ズルニ出ス。
- 3) 夫レ名ノ感染率ノ明クニ生存者ノ比ニ高シ。

### 第四節 損傷別下痢、頻度

第二十九表 (生存者例)

損傷	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
熱傷	393	131	33.3	362	130	35.9	755	261	34.5
外傷	298	290	36.3	421	386	42.7	719	676	39.3
熱傷兼外傷	115	46	40.0	112	50	44.6	227	96	42.2
無傷	1146	328	29.5	1693	450	28.7	2819	808	28.6
計	2452	795		3068	1046		5520	1841	

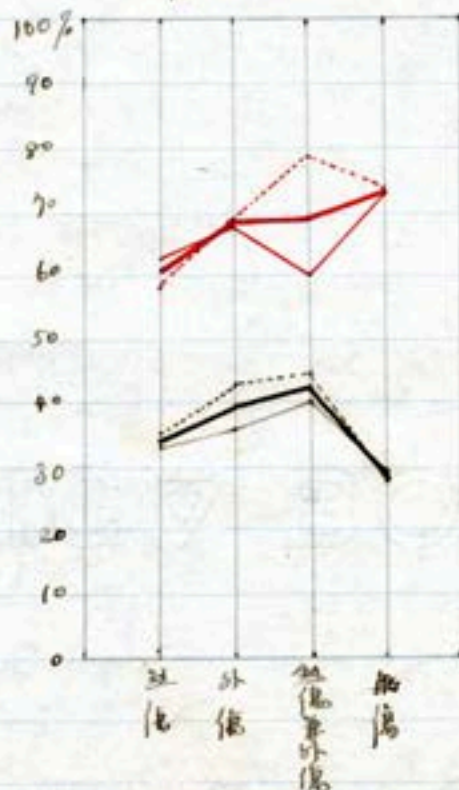
第三十表 (死亡者例)

損傷	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
熱傷	40	25	62.5	46	27	58.9	86	52	60.5
外傷	57	39	68.4	55	38	69.1	112	77	68.8
熱傷兼外傷	35	21	60.0	33	26	78.8	68	47	69.1
無傷	33	24	72.7	34	25	73.5	67	49	73.1
計	165	109		168	116		333	225	

#### 結果

- 1) 生存者中の熱傷兼外傷が最も多し、無傷が最も少し、當然と思ふ。
- 2) 死亡者中の無傷が最も多し、かつ居る。恐らく下痢を死の一因となつたと思ふ。
- 3) 女が男より高率、特に熱傷兼外傷の割合、認められ、注意を要す。
- 4) 死亡者の頻度、生存者の倍に大なり。

第三十一圖





第五節 下痢 / 出現期

第十九表 (男、六七層組)

出現期	0~1km		1~15		15~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2020/1	22	31.0	2	8.7	3	29.5	1	14.3	28	25.7
第1週 = "	28	39.4	10	42.5	2	25.0	0	0	40	36.7
第2週 = "	3	4.2	4	17.4	2	25.0	0	0	9	8.3
第3週 = "	8	11.3	2	8.7	1	12.5	1	14.3	12	11.0
第4週 = "	4	5.6	1	4.4	0	0	0	0	5	4.6
第2月 = "	3	4.2	3	13.1	0	0	3	42.9	9	8.3
第3月 = "	0	0	1	4.4	0	0	0	0	1	0.9
不詳	3	4.2	0	0	0	0	2	28.6	5	4.6
計	71		23		8		7		109	

第二十表 (女、六七層組)

出現期	0~1km		1~15		15~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2020/1	15	23.1	5	12.5	1	12.5	0	0	21	18.1
第1週 = "	39	60.0	17	42.5	4	50.0	1	33.3	61	52.6
第2週 = "	6	9.2	4	10.0	1	12.5	1	33.3	12	10.3
第3週 = "	2	3.1	3	7.5	0	0	0	0	5	4.3
第4週 = "	2	3.1	5	12.5	1	12.5	0	0	8	6.9
第2月 = "	1	1.5	3	7.5	1	12.5	1	33.3	6	5.2
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	0	0	3	7.5	0	0	0	0	3	2.6
計	65		40		8		3		116	

第二十一表 (男女合計、六七層組)

出現期	0~1km		1~15		15~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2020/1	37	27.2	7	11.1	4	25.0	1	10.0	49	21.8
第1週 = "	67	49.3	27	42.9	6	37.5	1	10.0	101	44.9
第2週 = "	9	6.4	8	12.7	3	18.7	1	10.0	21	9.3
第3週 = "	10	7.4	5	7.1	1	6.3	1	10.0	17	7.6
第4週 = "	6	4.4	6	9.5	1	6.3	0	0	13	5.8
第2月 = "	4	2.9	6	9.5	1	6.3	4	40.0	15	6.7
第3月 = "	0	0	1	1.6	0	0	0	0	1	0.4
不詳	3	2.2	3	4.8	0	0	2	20.0	8	3.6
計	136		63		16		10		225	

結果

下痢 = 早期 = 出現 20% 原則に 其 60-70% 第1週 = 現 10% 更に 5-10% 7 3ヶ月後 = 現 10-20% 強比 + 10



# 第四章 発熱 = 死亡

## 第一節 距離別 発熱 / 程度

表二十七 (生存者別)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	250	108	43.2	193	85	44.0	443	193	43.6
1~1.5	612	208	34.0	789	268	24.0	1401	476	34.0
1.5~2	352	88	25.0	506	70	13.8	858	158	18.4
2~3	749	103	13.8	990	137	13.8	1739	240	13.8
3~4	489	53	10.8	590	65	11.0	1079	118	10.9
計	2452	560	22.8	3068	625	20.4	5520	1185	21.5
4km 外	55	6	10.9		7	4.0		13	5.7

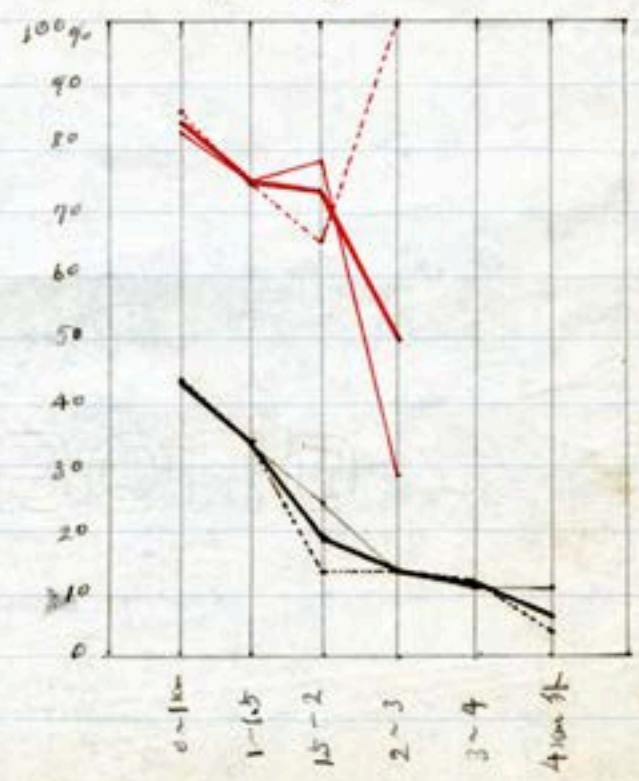
表二十八 (死亡者別)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	99	82	82.8	73	80	86.0	192	162	84.4
1~1.5	45	34	75.6	60	45	75.0	105	79	75.2
1.5~2	19	11	78.6	12	8	66.7	26	19	73.1
2~3	7	2	28.6	3	3	100.0	10	5	50.0
計	165	129		168	136		333	265	80.0

### 結果

- 1) 生存者、死亡者共に = 距離が  
増大すると共に = 程度は低下した。
- 2) 生存者、死亡者共に 4km 外まで  
0.1km 以内、他 / 原因 = 基  
元 / 計算入ることに想像される。
- 3) 男女、差異は著明でない。
- 4) 死亡者 / 生存者共に 4km 外まで  
37.2% 増加高いた。原因は  
発熱 / 死因として発熱が重要  
な位置を占めることが明らか  
である。

表二十九



第二章 年 齢 別 死 亡 率 及 親 度

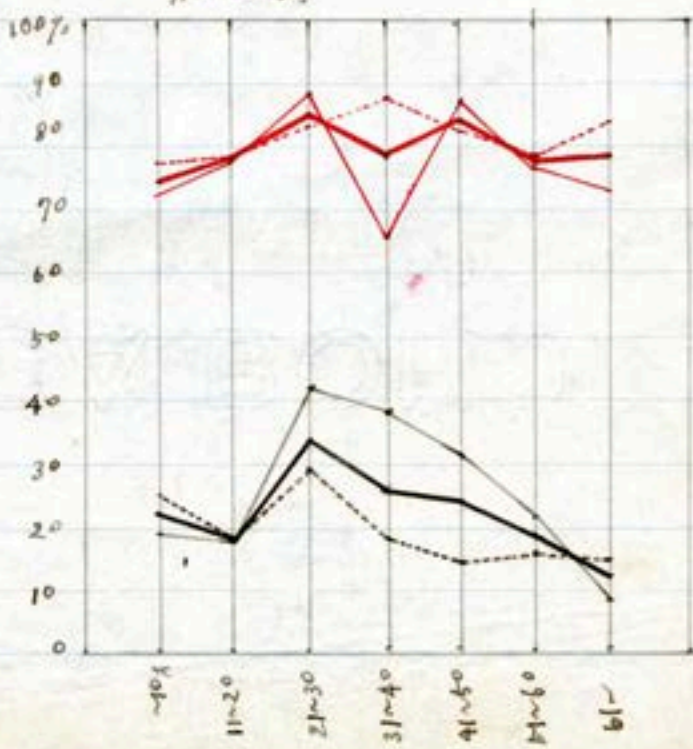
第十三表 (生存名例)

年 齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10	257	50	19.46	258	65	25.2	515	115	22.2
11~20	1331	245	18.4	1608	308	19.2	2939	553	18.8
21~30	182	76	41.8	403	119	29.5	585	195	33.3
31~40	190	73	38.4	266	99	37.2	456	122	26.8
41~50	225	71	31.5	264	40	15.2	489	111	22.7
51~60	173	37	21.4	165	28	17.0	338	65	19.2
61~	94	8	8.5	104	16	15.4	198	24	12.1
計	2452	560		3068	625		5520	1185	

第十四表 (死亡名例)

年 齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10	25	18	72.0	18	14	77.8	43	32	74.4
11~20	57	44	77.2	52	41	78.8	109	85	78.0
21~30	27	24	88.9	34	28	82.4	61	52	85.2
31~40	12	8	66.7	16	14	87.5	28	22	78.6
41~50	16	14	87.5	22	18	81.8	38	32	84.2
51~60	17	13	76.5	14	11	78.6	31	24	77.4
61~	11	8	72.7	12	10	83.3	23	18	78.3
計	165	129		168	136		333	265	

第十四圖



結果

- 21~30の年齢層 = 最も親度が  
高。此の時の死亡率が最も  
多ト思ハレル。
- 女の死亡率 = 男の死亡率より高  
クナル。此の時の死亡率が、  
男の死亡率より高トシテハ  
前ト同様ナル。

第二章 環境別 染患ノ程度

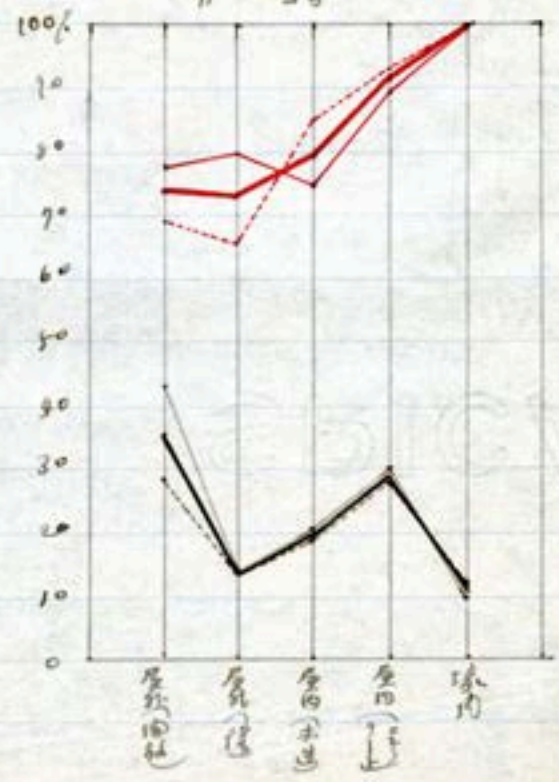
第四十一表 (生存者例)

環境	男			女			計		
	調査数	病数	%	調査数	病数	%	調査数	病数	%
屋外(畑地)	286	125	43.7	259	94	28.6	545	199	36.5
"(林)	368	54	14.7	306	43	14.1	674	97	14.4
屋内(木造)	133	267	20.1	1867	358	19.2	3198	625	19.5
"(237軒)	337	101	30.0	439	126	28.7	776	227	28.2
境内	130	13	10.0	197	24	12.2	329	37	11.3
計	2452	560		3068	625		5520	1185	

第四十二表 (死亡者例)

環境	男			女			計		
	調査数	病数	%	調査数	病数	%	調査数	病数	%
屋外(畑地)	32	25	78.1	36	25	67.4	68	50	74.6
"(林)	15	12	80.0	18	12	66.7	33	24	72.7
屋内(木造)	76	72	95.0	88	75	85.2	164	147	90.9
"(237軒)	19	17	89.5	25	23	92.0	44	40	90.9
境内	3	3	100.0	1	1	100.0	4	4	100.0
計	165	129		168	136		333	265	

第十四圖



結果

- 1) 生存者ハ、屋外畑地カ最多イ  
カ 死亡者ハ、室内「237軒」  
屋内及境内カ最多トナル
- 2) 男女ノ異ニ認メラレナイ
- 3) 生存者ト死亡者トノ差カ、大ニ  
異リ、死亡者ノルカ差カニ高イ。



## 第五節 花熱 / 出現期

第十四表 (男, 50名以内)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2022/1	21	25.6	6	19.7	5	43.5	0	0	32	29.8
第1週 = "	37	45.1	10	29.4	1	9.1	0	0	48	27.2
第2週 = "	2	2.4	4	11.8	1	9.1	0	0	7	5.4
第3週 = "	13	15.9	7	20.6	1	9.1	0	0	21	16.3
第4週 = "	2	2.4	3	8.8	1	9.1	0	0	6	4.9
第2月 = "	2	2.4	0	0	0	0	2	100.0	4	3.1
第3月 = "	0	0	1	2.9	0	0	0	0	1	0.8
不詳	5	6.1	3	8.8	2	18.2	0	0	10	7.8
計	82		34		11		2		129	

第十四表 (女, 50名以内)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2022/1	18	22.5	5	11.1	2	23.0	0	0	25	18.4
第1週 = "	43	53.8	14	31.1	5	62.5	1	33.3	63	46.3
第2週 = "	6	7.5	2	4.4	0	0	1	33.3	9	6.6
第3週 = "	6	7.5	4	8.9	0	0	0	0	10	7.4
第4週 = "	5	6.3	12	26.7	1	12.5	0	0	18	13.2
第2月 = "	1	1.3	3	6.7	0	0	1	33.3	5	3.7
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	1	1.3	5	11.1	0	0	0	0	6	4.4
計	80		45		8		3		139	

第十四表 (男女合計, 50名以内)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2022/1	39	24.1	11	13.9	7	36.3	0	0	57	21.5
第1週 = "	80	47.4	24	30.4	6	31.6	1	20.0	111	41.9
第2週 = "	8	9.4	6	7.6	1	5.3	1	20.0	16	6.0
第3週 = "	19	18.7	11	13.9	1	5.3	0	0	31	11.7
第4週 = "	7	4.3	15	19.0	2	10.5	0	0	24	9.1
第2月 = "	3	1.9	3	3.8	0	0	3	10.0	9	3.4
第3月 = "	0	0	1	1.3	0	0	0	0	1	0.4
不詳	6	3.7	8	10.1	2	10.5	0	0	16	6.0
計	162		79		19		5		265	

結果:

花熱 = 早期 + 原則 + 2m 第1週以内 = 全体の  $\frac{2}{3}$  以上。  
 他  $\frac{1}{3}$  の場合は 2m。

## 第五章 出血 = 死亡

## 第一部 距離別 出血 / 頻度

第四十八表 (生存者の例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1 km	250	84	33.6	193	55	28.5	443	139	31.4
1~1.5	612	156	25.5	789	248	31.4	1401	404	28.8
1.5~2	352	37	10.5	506	56	11.1	858	93	10.8
2~3	749	64	8.5	990	66	6.7	1939	130	6.7
3~4	489	15	3.1	590	31	5.2	1079	46	4.3
計	2452	356	14.5	3068	456	14.9	5520	812	14.7
4km 外	55	2	3.6	193	5	2.9	228	7	3.1

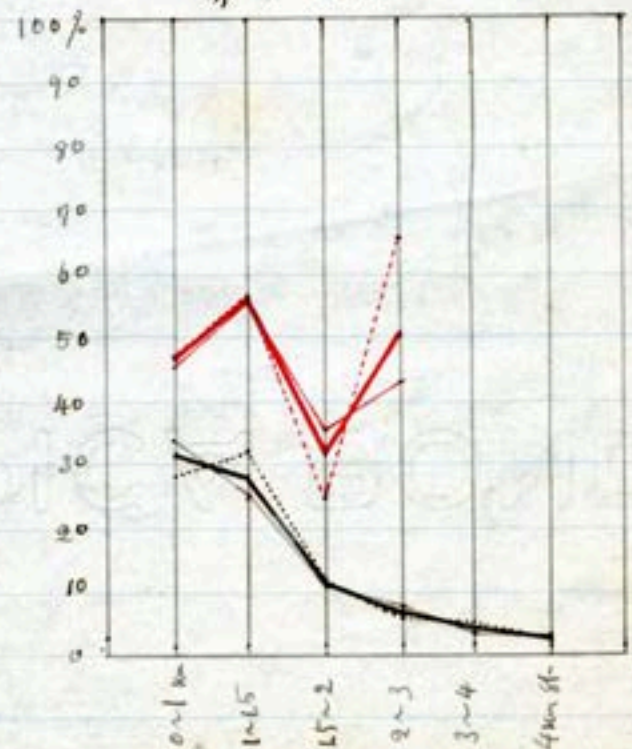
第四十九表 (死亡者の例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1 km	99	46	46.5	93	44	47.3	192	90	46.9
1~1.5	45	25	55.6	60	34	56.7	105	69	56.2
1.5~2	14	5	35.7	12	3	25.0	26	8	30.8
2~3	7	3	42.9	3	2	66.7	10	5	50.0
計	165	79		168	83		333	162	

## 結果

- 1) 生存者の距離 / 増大傾向 = 低下  
 した。
- 2) 死亡者の 2~3 km 以上昇ったものの  
 例数 / 少ないが、誤差も含めた。
- 3) 死亡者の生存者の頻度 / 高いもの  
 出血 / 死亡 / 原因 / 機転 / 物話 / 等  
 について
- 4) 男女間 / 差異 / の統計 / 見ると、

第十七回





第二節 年齡別 出血ノ頻度

第五十表 (生存者別)

年齡	男			女			計		
	例數	例數	%	例數	例數	%	例數	例數	%
~10	257	26	10.1	258	28	10.8	515	54	10.5
11~20	1331	157	11.7	1608	227	14.1	2939	384	13.1
21~30	182	49	26.9	403	93	23.1	585	142	24.3
31~40	190	41	21.6	266	45	16.9	456	86	18.9
41~50	225	57	25.5	264	35	11.4	489	92	18.8
51~60	173	19	11.0	165	16	9.7	338	35	10.4
61~	94	7	7.4	104	12	11.5	198	19	9.6
計	2452	356		3068	456		5520	812	14.9

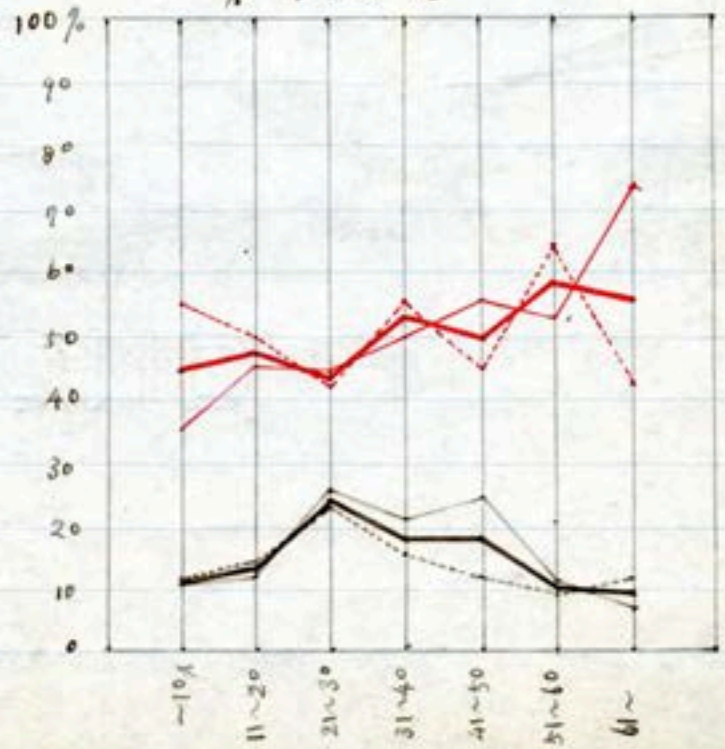
第五十一表 (死亡者別)

年齡	男			女			計		
	例數	例數	%	例數	例數	%	例數	例數	%
~10	25	9	26.0	18	10	55.6	43	19	44.2
11~20	57	26	45.6	52	26	50.0	109	52	47.7
21~30	27	12	44.4	34	14	41.2	61	26	42.6
31~40	12	6	50.0	16	9	56.3	28	15	53.6
41~50	16	9	56.3	22	10	45.5	38	19	50.0
51~60	17	9	52.9	14	9	64.3	31	18	58.1
61~	11	8	72.7	12	5	41.7	23	13	56.5
計	165	79		168	83		333	162	48.6

第十八圖

結果

- 1) 生存者ノ出血ノ中年ニ多ク、死亡者ノ出血ノ年齢ト共ニ增加ノ傾向ヲ示ス。
- 2) 男女ノ差、明確ナリ。
- 3) 死亡者ノ出血ノ生存者ト異ナル。



## 第二章 環境別出血、皮膚

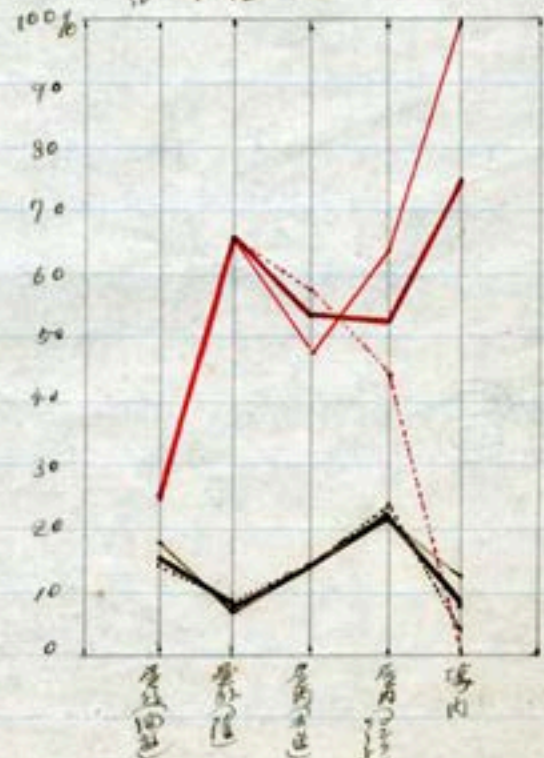
第五十二表 (生存者例)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外(開放)	286	51	17.8	259	39	15.1	545	90	16.5
・ (陰)	368	29	7.6	306	30	9.8	674	59	8.5
屋内(木造)	1301	190	14.3	1867	274	14.7	3198	464	14.5
・ (2197-1)	337	91	21.1	439	104	23.7	776	195	22.5
場内	130	17	13.1	197	7	4.6	327	26	7.9
計	2452	356		3068	456		5520	812	

第五十三表 (死亡者例)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外(開放)	32	8	25.0	36	9	25.0	68	17	25.4
・ (陰)	15	10	66.7	18	12	66.7	33	22	66.7
屋内(木造)	96	46	47.9	88	51	58.0	184	97	52.7
・ (2197-1)	19	12	63.2	25	11	44.0	44	23	52.3
場内	3	3	100.0	1	0	0	4	3	75.0
計	165	79		168	83		333	162	

第十九圖



## 結果

- 1) 生存者中、屋外開放及び「2197-1」  
屋内=多し。死亡者中、屋外陰=多  
し。
- 2) 男女一見、殆ど概々同し。
- 3) 死亡者、頻りに生存者より2197-1  
加大、室内場内症及び「2197-1」  
死亡に至る大に、竟然、有る事、  
判る。

第四節 損傷別出血ノ程度

第五十四表 (生存者例)

損傷	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
無傷	393	54	13.7	362	68	18.8	755	122	17.4
外傷	798	166	20.8	921	202	21.9	1719	368	21.4
熱傷並外傷	115	31	27.0	112	30	26.8	227	61	26.8
無傷	1146	105	9.2	1672	156	9.3	2819	261	9.2
計	2452	356		3068	456		5520	812	

第五十五表 (死亡者例)

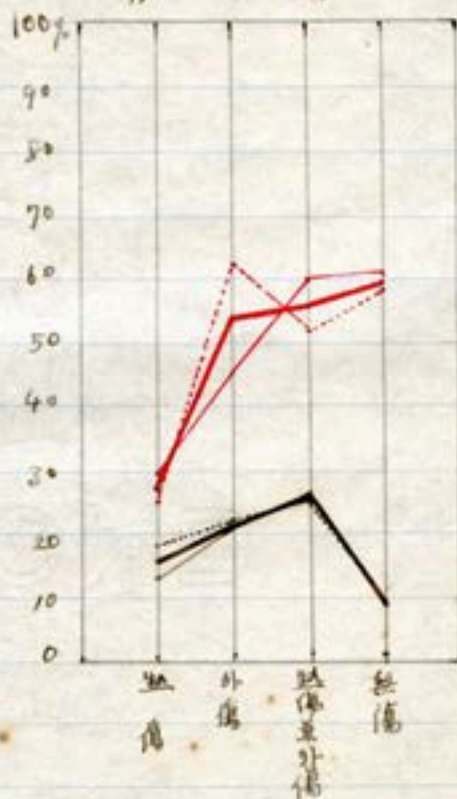
損傷	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
無傷	40	12	30.0	46	12	26.1	86	24	27.9
外傷	57	26	45.6	55	34	61.8	112	60	53.6
熱傷並外傷	35	21	60.0	33	17	51.5	68	38	55.9
無傷	33	20	60.6	34	20	58.8	67	40	59.7
計	165	79		168	83		333	162	

結果

1) 熱傷並外傷ノ死亡者最モ多ク、  
 熱傷ト外傷トノ外傷ニ多シ。  
 熱傷ノ死亡者中死後一周ニ至ラズ  
 死亡シ生じタメ、實際ハ皮下  
 出血ト付カガリ不明瞭ガ付  
 1カセ知レタ。或ハ熱傷ト急遽ニ  
 死亡シタメ出血ニ至ラズシテ  
 タメ知レタ。或ハ又實際ニ  
 熱傷ニ出テ難ク、外傷ニ出テ易  
 理由ガアルカ知レタ。

2) 男女ノ死ノ不明、死亡者ト生存者トノ  
 比率ニ差ハ程度ガ高シ。

第五十四圖



## 第五節 出血ノ出現期

第五十六表 (男, 死七名)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 2月22日	6	13.0	3	12.0	1	20.0	0	0	10	12.4
1月1日	12	26.1	3	12.0	2	40.0	0	0	17	21.5
1月2日	7	15.2	4	16.0	1	20.0	1	33.3	13	16.5
1月3日	7	15.2	4	16.0	0	0	0	0	11	13.9
1月4日	3	6.5	6	24.0	0	0	0	0	9	11.4
2月2日	1	2.2	1	4.0	1	0	2	66.7	4	5.1
2月3日	0	0	1	4.0	0	0	0	0	1	1.3
計	10	21.7	3	12.0	1	20.0	0	0	14	17.7
計	46		25		5		3		79	

第五十七表 (女, 死七名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 6月22日	4	9.1	0	0	0	0	0	0	4	4.8
1月1日	13	29.5	4	11.8	1	33.3	0	0	18	21.9
1月2日	10	22.7	2	5.9	0	0	1	50.0	13	15.7
1月3日	6	13.6	8	23.5	1	33.3	0	0	15	18.1
1月4日	1	2.3	11	32.4	0	0	0	0	12	14.5
2月2日	1	2.3	4	11.8	0	0	1	50.0	6	7.2
2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	20.5	5	14.7	1	33.3	0	0	15	18.1
計	44		34		3		2		83	

第五十八表 (男女合算, 死七名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 = 6月22日	10	11.1	3	5.1	1	12.5	0	0	14	8.6
1月1日	25	29.8	9	11.9	3	37.5	0	0	35	21.6
1月2日	17	18.9	6	10.2	1	12.5	2	40.0	26	16.1
1月3日	13	14.9	12	20.3	1	12.5	0	0	26	16.1
1月4日	4	4.4	17	29.1	0	0	0	0	21	12.9
2月2日	2	2.2	5	8.5	0	0	3	60.0	10	6.2
2月3日	0	0	1	1.7	0	0	0	0	1	0.6
計	19	21.1	8	13.6	2	25.0	0	0	29	15.4
計	90		59		8		5		162	

## 結果

出血ノ近距離症ハ早期ニ出現スル。近距離症トハ二ツツテ遠シク使向カル。0~1km 7%

1月1日 = 約40% 出現スルニ及ビ。1~1.5km 7% 出現スルニ及ビ。男女差ハ微カナリ。

## 第六節 出血種類

表五十九 (男, 50名例)

出血種類	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例數	%	例數	%	例數	%	例數	%	例數	%
齒齦出血	13	26.0	4	8.0	0	0	1	2.0	18	36.0
鼻出血	13	26.0	5	10.0	0	0	0	0	18	36.0
口腔出血	4	8.0	1	2.0	0	0	0	0	5	10.0
咳嗽出血	5	10.0	1	2.0	0	0	0	0	6	12.0
吐血	4	8.0	7	14.0	0	0	0	0	11	22.0
下血	18	36.0	4	8.0	3	6.0	2	4.0	27	54.0
血尿	6	12.0	1	2.0	0	0	1	2.0	8	16.0
皮下出血	18	36.0	13	26.0	2	4.0	2	4.0	35	70.0
不詳	0	0	1	2.0	0	0	0	0	1	2.0
出血總例數	46		25		5		3		79	

表六十 (女, 30名例)

出血種類	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例數	%	例數	%	例數	%	例數	%	例數	%
齒齦出血	13	29.5	13	38.2	1	3.3	0	0	27	32.5
鼻出血	10	22.7	5	14.7	0	0	0	0	15	18.1
口腔出血	2	4.5	0	0	0	0	0	0	2	2.4
咳嗽出血	7	15.9	1	2.9	0	0	0	0	8	9.6
吐血	6	13.6	7	20.6	0	0	1	50.0	14	16.9
下血	12	29.3	13	38.2	1	3.3	1	50.0	27	32.5
血尿	3	6.8	4	11.8	0	0	0	0	7	8.4
皮下出血	17	38.6	19	55.9	1	3.3	1	50.0	38	45.8
不詳	1	2.3	0	0	0	0	0	0	1	1.2
出血總例數	44		34		3		2		83	

表六十一 (男女合計, 50名例)

出血種類	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例數	%	例數	%	例數	%	例數	%	例數	%
齒齦出血	26	28.9	17	29.1	1	12.5	1	20.0	45	29.8
鼻出血	23	25.6	10	19.0	0	0	0	0	33	20.4
口腔出血	6	6.7	1	1.9	0	0	0	0	7	4.3
咳嗽出血	12	13.3	2	3.4	0	0	0	0	14	8.6
吐血	15	16.7	14	23.7	0	0	1	20.0	30	18.5
下血	30	33.3	17	29.1	4	50.0	3	60.0	54	33.3
血尿	9	10.0	5	8.5	0	0	1	20.0	15	9.3
皮下出血	35	38.9	32	54.2	3	37.5	3	60.0	73	45.1
不詳	1	1.1	1	1.9	0	0	0	0	2	1.2
出血總例數	90		54		8		5		162	

## 結果

- 1) 皮下出血が最も多し、次に下血、歯齦出血、痔瘻等。
- 2) 皮下出血は 0~1km の 1~1.5 km = 多し、= 衄血、粘膜出血、咯血等。  
近距離 = 多し、歯齦出血、血尿、吐血等。女・男の差は傾向が不明。

## 第七節 出血と脱毛の合併 - 結果

第六十二表 (男、死亡名例)

	0~1km	1~1.5	1.5~2	2~3	計
出血(+), 脱毛(+)	19	13	2	1	35
出血(+), 脱毛(-)	27	12	3	2	44
出血(-), 脱毛(+)	5	5	1	0	11
計	51	30	6	3	90

第六十三表 (女、死亡名例)

	0~1km	1~1.5	1.5~2	2~3	計
出血(+), 脱毛(+)	19	15	1	1	36
出血(+), 脱毛(-)	25	19	2	1	47
出血(-), 脱毛(+)	9	6	0	0	15
計	53	40	3	2	98

第六十四表 (男女合計、死亡名例)

	0~1km	1~1.5	1.5~2	2~3	計
出血(+), 脱毛(+)	38	28	3	2	71
出血(+), 脱毛(-)	52	31	5	3	91
出血(-), 脱毛(+)	14	11	1	0	26
計	104	70	9	5	188

## 結果

- 1) 出血と脱毛と、原小煤燐毒中重要な徴候であるが、必ずしも両者の合併は必ずしもない。188例中71例即ち約38% = 計の合併。他の出血は、脱毛は、何れも見ない。即ち
- 2) 出血と脱毛と、188例中91例即ち約48%は出血は、脱毛は、188例中26例<sup>10</sup>14%は両者ともない。

# 第六章 脱毛 - 新戸

## 第一节 距離別 脱毛 / 頻度

第五表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	250	83	33.2	193	55	28.5	443	138	31.1
1~1.5	612	143	23.4	789	219	27.8	1401	362	25.8
1.5~2	252	33	9.4	506	43	8.5	858	96	8.9
2~3	749	25	3.3	790	31	3.1	1739	56	3.2
3~4	489	5	1.2	590	14	2.4	1079	19	1.8
計	2452	289	11.8	3068	362	11.8	5520	651	11.8
4km外	55	0	0	193	2	1.2	228	2	0.9

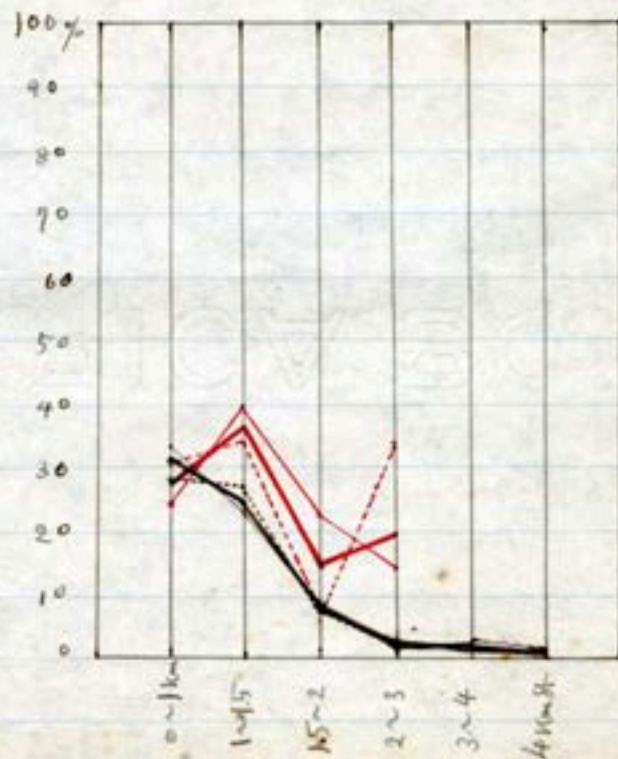
第六表 (死亡者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	99	29	29.2	93	28	30.1	192	52	29.1
1~1.5	45	18	40.0	60	21	35.0	105	39	39.1
1.5~2	14	3	21.4	12	1	8.3	26	4	15.4
2~3	7	1	14.3	3	1	33.3	10	2	20.0
計	165	46		168	51		333	97	29.1

### 結果

- 1) 生存者間の距離別 =  
 以下2組. 死亡者間 0~1km  
 が多い. 脱毛 = 生存者  
 死亡者より多い
- 2) 生存者と死亡者の間で  
 差が著しい. 脱毛が死亡  
 者間より生存者間より  
 多いことが表より見られる.
- 3) 男女別は不明である.

第二十一圖



第二章 年齡別 脱毛、親度

第廿七表 (生存者例)

年齡	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0~10才	257	31	12.1	258	31	12.0	515	62	12.0
11~20	1331	125	9.4	1608	167	10.3	2439	292	9.9
21~30	182	44	24.2	403	70	17.4	585	114	19.5
31~40	140	32	18.9	266	44	16.5	456	76	16.7
41~50	225	36	15.2	264	30	11.4	489	66	13.5
51~60	172	16	9.2	105	12	7.3	338	28	8.3
61~	94	5	5.3	104	8	7.7	198	13	6.6
計	2452	289		3068	362		5520	651	

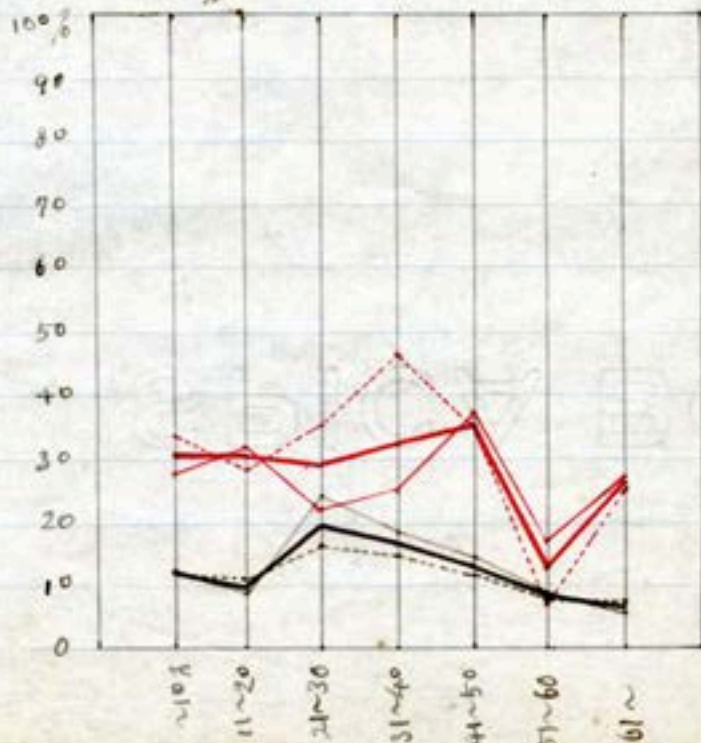
第廿八表 (死亡者例)

年齡	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	25	7	28.0	18	6	33.3	43	13	30.2
11~20	57	18	31.6	52	15	28.8	109	33	30.3
21~30	27	6	22.2	34	12	35.3	61	18	29.5
31~40	12	3	25.0	10	6	47.5	28	9	32.1
41~50	16	6	37.5	22	8	36.4	38	14	36.8
51~60	17	3	17.6	14	1	7.1	31	4	12.9
61~	11	3	27.3	12	3	25.0	23	6	26.1
計	165	46		168	51		333	97	

第 二 十 一 圖

結果

- 1) 生存者、中年 - 多し。死亡者  
中、女 - 多し。
- 2) 男女同、差異 - 一定なし。
- 3) 死亡者、生存者の過半 - 多し。





## 第二章 環境別 脱毛ノ程度

第六十九表 (生存者例)

環境	男			女			計		
	例数	人数	%	例数	人数	%	例数	人数	%
屋外 (用紙)	286	59	20.6	259	50	19.4	545	109	20.0
" (塗)	368	31	8.4	306	27	8.8	674	58	8.6
屋内 (木造)	1831	149	11.2	1867	206	11.0	3198	355	11.1
" (2233-1)	337	46	13.6	439	74	16.8	776	120	15.5
境内	130	4	3.1	177	5	2.5	327	9	2.7
計	2452	287		3068	362		5520	651	

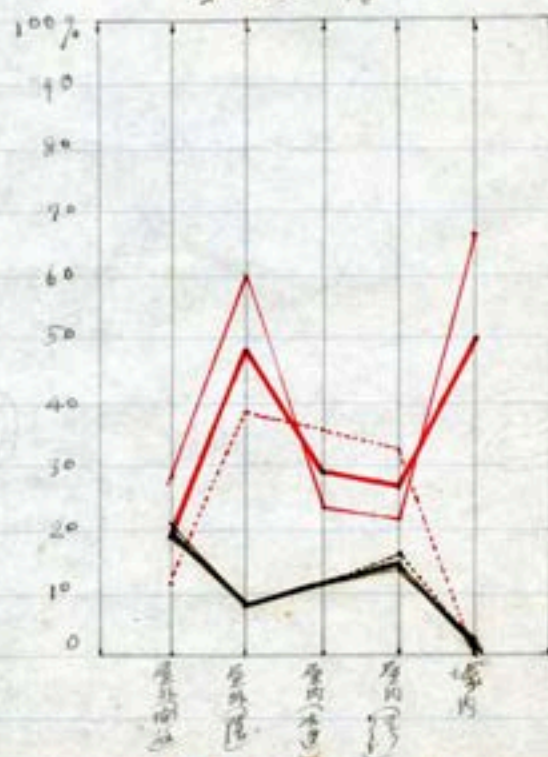
第七十表 (死亡者例)

環境	男			女			計		
	例数	人数	%	例数	人数	%	例数	人数	%
屋外 (用紙)	32	9	28.1	36	4	11.1	68	13	19.4
" (塗)	15	9	60.0	18	7	38.9	33	16	48.5
屋内 (木造)	96	22	22.9	88	32	36.4	184	54	29.3
" (2233-1)	19	4	21.1	25	8	32.0	44	12	27.3
境内	3	2	66.7	1	0	0	4	2	50.0
計	165	46		168	51		333	97	

表二十三用

結果

- 生存者中の屋外用紙が最も多し、次に「2233-1」屋内、境内の順である。
- 死亡者中の屋外用紙が最も多し、次に「2233-1」屋内、境内の順である。また脱毛期が終ると死亡者中の屋外用紙が減少する。
- 死亡者中境内ノ脱毛が最も多し、次に「2233-1」屋内、境内の順である。





## 第五節 脱毛、出現期

第七十三表 (男、57名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 - 初2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第1回 = "	4	16.7	1	5.6	0	0	0	0	5	10.9
第2回 = "	7	29.2	5	29.8	1	33.3	0	0	13	28.3
第3回 = "	9	37.5	6	33.3	1	33.3	0	0	16	34.8
第4回 = "	1	4.2	2	11.1	0	0	1	100.0	4	8.7
第2月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	3	12.5	4	22.2	1	33.3	0	0	8	17.4
計	24		18		3		1		46	

第七十四表 (女、52名例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 - 初2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第1回 = "	14	50.0	3	14.3	0	0	0	0	17	32.3
第2回 = "	8	28.6	5	23.8	0	0	1	100.0	14	27.5
第3回 = "	5	17.9	8	38.1	1	100.0	0	0	14	27.5
第4回 = "	0	0	2	9.5	0	0	0	0	2	3.9
第2月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	1	3.6	3	14.3	0	0	0	0	4	7.8
計	28		21		1		1		51	

第七十五表 (男女合計、57名例)

出現期	0~1km		1~1.5km		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当日 - 初2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第1回 = "	18	34.6	4	13.3	0	0	0	0	22	22.7
第2回 = "	15	28.8	10	25.6	1	25.0	1	50.0	27	27.8
第3回 = "	14	26.9	14	25.9	2	50.0	0	0	30	30.9
第4回 = "	1	1.9	4	10.3	0	0	1	50.0	6	6.2
第2月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	4	7.7	7	17.0	1	25.0	0	0	12	12.4
計	52		39		4		2		77	

## 結果

第3回 = 出現2回の場合が多い。近距離から早い出現は、近距離から速く出現し、女の男より早く出現する。この髪は長くて目元が黒い方が多い。

## 第七章 意識障害 - 就テ

## 第一节 距離別 意識障害ノ 程度

第七十六表 (生石石例)

距離	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0~1km	250	41	16.4	193	23	11.9	443	64	14.4
1~1.5	612	92	15.4	789	86	10.9	1401	168	12.0
1.5~2	352	23	6.5	586	26	5.1	858	49	5.9
2~3	749	25	3.5	790	40	4.0	1739	65	3.9
3~4	489	7	1.8	590	8	1.4	1079	17	1.6
計	2452	180		3068	183		5520	363	6.6
4km外	55	0	0	173	1	0.6	228	1	0.4

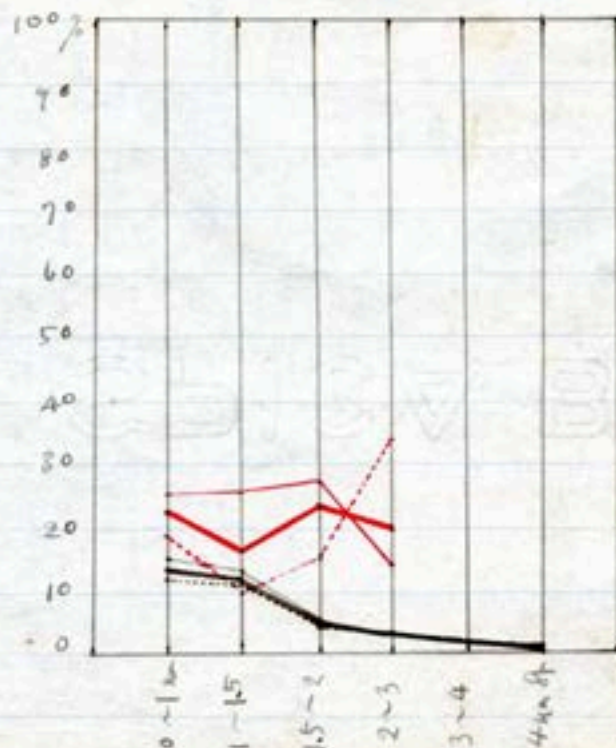
第七十七表 (天石石例)

距離	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0~1km	49	26	26.3	93	18	19.4	142	44	22.9
1~1.5	45	12	26.7	60	6	10.0	105	18	19.1
1.5~2	14	4	28.6	12	2	16.7	26	6	23.1
2~3	7	1	14.3	3	1	33.3	10	2	20.0
計	165	43		168	27		333	70	21.0

## 結果

- 1) 近距離ノ 凡テ 程度 - 高ク  
アルニ 近距離ノ 凡テ  
見ラレタ。
- 2) 凡テ 凡テ 凡テ 凡テ  
ナリ。又 距離ニ 凡テ  
凡テ ナリ。
- 3) 女ニ 凡テ 凡テ 凡テ 凡テ。
- 4) 女子 凡テ 凡テ 凡テ 凡テ  
凡テ ナリ。

第二十五圖



第二節 年齢別 意識障害の頻度

第七十八表 (生後6例)

年齢	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
~10歳	257	4	1.6	258	6	2.3	515	10	1.9
11~20	1331	97	6.8	1608	102	6.3	2939	199	6.7
21~30	182	28	15.4	403	30	7.4	585	58	9.9
31~40	190	19	10.0	266	17	6.4	456	36	7.9
41~50	225	25	11.1	264	14	5.3	489	39	8.0
51~60	173	22	12.7	165	10	6.1	338	32	9.5
61~	94	5	5.3	104	4	3.8	198	9	4.5
計	2452	180		3068	183		5520	363	

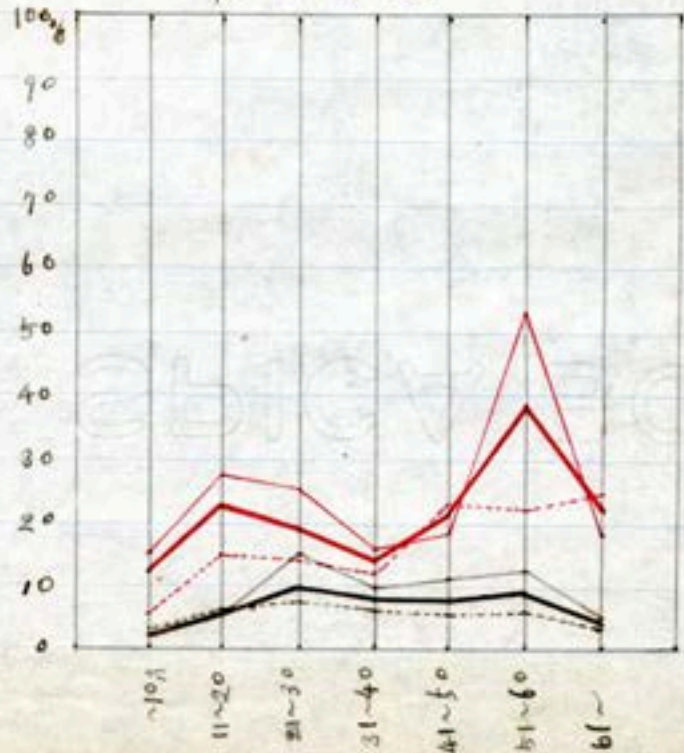
第七十九表 (女2者例)

年齢	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
~10歳	25	4	16.0	18	1	5.6	43	5	11.6
11~20	57	16	28.1	52	8	15.4	109	24	22.0
21~30	27	7	25.9	34	5	14.7	61	12	19.7
31~40	12	2	16.7	16	2	12.5	28	4	14.3
41~50	16	3	18.8	22	5	22.7	38	8	21.1
51~60	17	9	52.9	14	3	21.4	31	12	38.7
61~	11	2	18.2	12	3	25.0	23	5	21.7
計	165	43		168	27		333	70	

第七十表

結果

- 1) 年齢=20歳以上の患者は、意識障害の頻度は少ない。
- 2) 男、女の意識障害の頻度は、20歳以上の患者は、意識障害の頻度は少ない。
- 3) 生後6例と2例の患者は、意識障害の頻度は、1歳未満の患者は、意識障害の頻度は少ない。



第三節 環境的意識障礙, 報告

第八十表 (生存病例)

環境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外 (棚底)	286	24	11.7	259	22	8.3	545	56	10.3
" (頂)	368	10	2.4	306	10	3.3	674	20	3.0
屋內 (木造)	1331	86	6.5	1867	96	5.1	3198	182	5.7
" (瓦葺)	327	45	12.3	439	50	11.4	766	95	12.1
總計	130	5	3.8	177	5	2.5	327	10	3.0
計	2452	180		3068	183		5520	363	

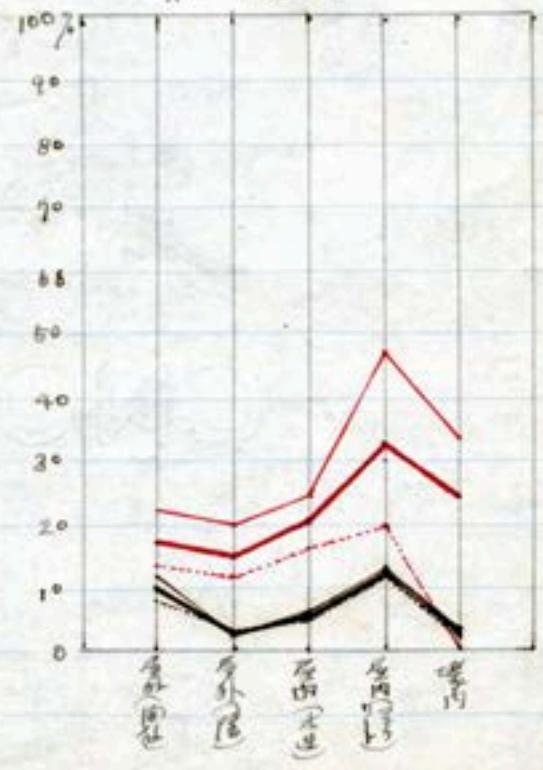
第八十一表 (死亡病例)

環境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外 (棚底)	32	7	21.9	36	5	13.9	68	12	17.9
" (頂)	15	3	20.0	18	2	11.1	33	5	15.1
屋內 (木造)	96	23	24.0	88	15	17.0	184	38	20.7
" (瓦葺)	19	9	47.4	25	5	20.0	44	14	31.8
總計	3	1	33.3	1	0	0	4	1	25.0
計	165	43		168	27		333	70	

第二十七圖

結果

- 1) 屋外棚底と「瓦葺」屋內 = 多し。
- 2) 男・女の意識障礙の程度も傾向が似る。



### 第四節 損傷別 意識障害, 痙攣

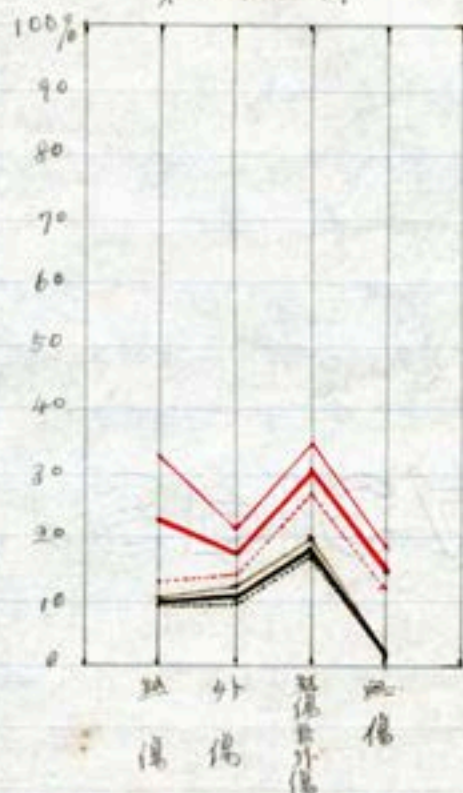
第八十二表 (生存者例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
熱傷	343	40	10.2	362	35	9.7	755	75	9.8
外傷	798	99	12.4	921	92	10.0	1719	191	11.1
熱傷兼外傷	115	23	20.0	112	20	17.9	227	43	18.9
其他	1146	18	1.6	1673	36	2.2	2819	54	1.9
計	2452	180		3068	183		5520	363	

第八十三表 (死亡者例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
熱傷	41	13	32.5	46	6	13.0	86	19	22.1
外傷	57	12	21.1	55	8	14.5	112	20	17.9
熱傷兼外傷	35	12	34.3	33	9	27.3	68	21	30.9
其他	33	6	18.2	34	4	11.8	67	10	14.9
計	165	43		168	27		333	70	

第二十八圖



結果

- 1) 熱傷兼外傷 - 最も多い。全体の約 1/3 以上。
- 2) 男と女の割合はほぼ同程度。

備考:

意識障害, 出現期は, 早期 20% 前後で, 2 日目以降に増加する。調査 1 件 明確に記載したものは少ない。この統計は, 死亡者も含めて。

# 第八章 眩暈二軌

## 第一節 距離別 眩暈ノ頻度

第八十四表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	250	48	19.2	193	31	16.1	443	79	17.8
1~1.5	612	108	17.6	789	162	20.5	1401	270	19.3
1.5~2	352	29	8.0	506	45	8.9	858	73	8.5
2~3	744	34	4.5	990	89	7.0	1734	103	5.9
3~4	489	26	5.3	590	28	4.7	1079	54	5.0
計	2452	244	9.9	3069	335	10.9	5520	579	10.5
4km外	55	1	1.8	193	4	2.3	228	5	2.2

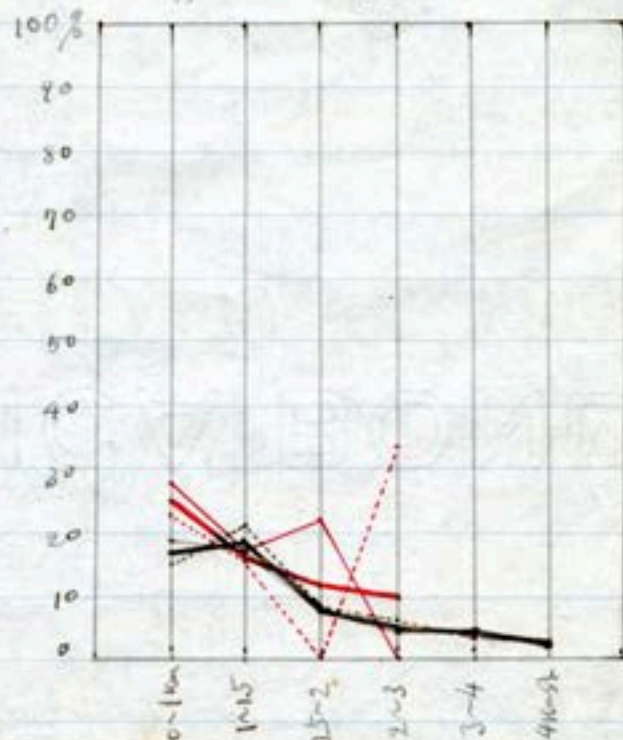
第八十五表 (死者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	99	28	28.3	93	21	22.6	192	49	25.5
1~1.5	45	8	17.8	60	10	16.7	105	18	17.1
1.5~2	14	3	21.4	12	0	0	26	3	11.5
2~3	7	0	0	3	1	33.3	10	1	10.0
計	165	39		168			333	71	21.3

### 結果

- 1) 眩暈ニ 愈済障碍ト同ジク  
 近距離ニ 死ト 短カニ 證明  
 ナル、遠距離ガ 漸次  
 減少シ、4km外ガ 見ラ  
 レルハ 原子爆彈ト 關係  
 ナシトシテ可ク
- 2) 生存者ト 死者ト、其數カ 比  
 シテ 遠距離ガ 愈済、亦 壯  
 年ノ 死ニ 對シテ 愈済ノ 少イ  
 ト 意味スル
- 3) 此ニ 女 27 男 = 少ニ 割合ガ 高イ。

第二十九圖





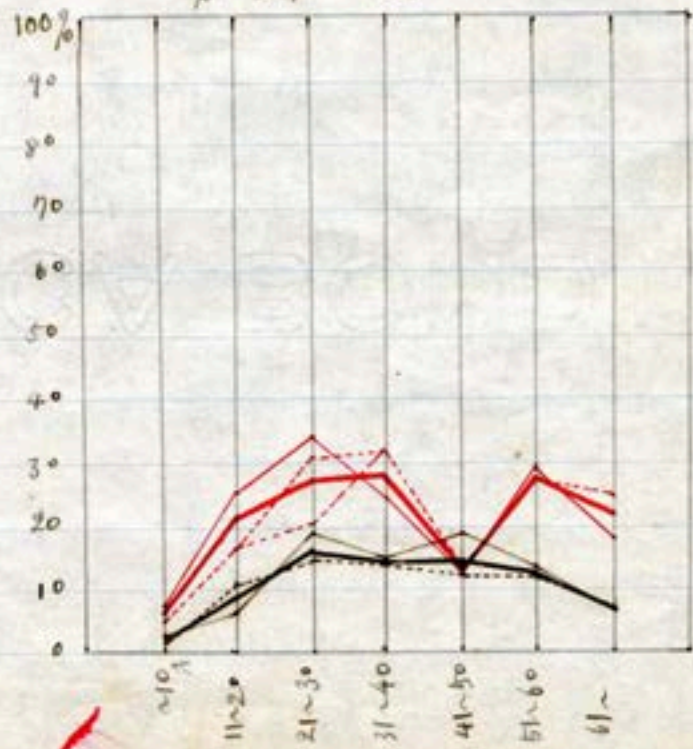
第一節 年齡別 眩暈 / 頻度  
 第十八表 (生存者別)

年齡	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	257	7	2.7	258	4	1.6	515	11	2.1
11~20	1331	45	3.4	1608	169	10.5	2939	214	7.3
21~30	182	36	19.8	403	65	16.1	585	101	17.3
31~40	190	31	16.3	266	38	14.3	456	69	15.1
41~50	225	44	19.5	264	31	11.7	489	75	15.3
51~60	173	24	13.8	165	20	12.2	338	44	13.0
61~	94	7	7.4	104	8	7.7	198	15	7.6
計	2452	244		3068	335		5520	579	

第十八表 (死之者別)

年齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	25	2	8.0	18	1	5.6	43	3	7.0
11~20	57	15	26.3	52	9	17.3	109	24	22.0
21~30	27	10	37.0	34	7	20.6	61	17	27.9
31~40	12	3	25.0	16	5	31.3	28	8	28.6
41~50	16	2	12.5	22	3	13.6	38	5	13.2
51~60	17	5	29.4	14	4	28.6	31	9	29.0
61~	11	2	18.2	12	3	25.0	23	5	21.7
計	165	39		168	32		333	71	

第三十圖



結果

- 1) 幼男及老人 = 少い。  
 幼男の眩暈は少い。  
 21才以下は20才以下。  
 75%。
- 2) 死之者 41~50才 = 最も少い。  
 51才以上は、偶に、結果は思ふ通り。
- 3) 男、女の眩暈は死之者に程々。
- 4) 生存者と死之者の差、僅かに。

### 第三節 環境別 眩暈・顔面

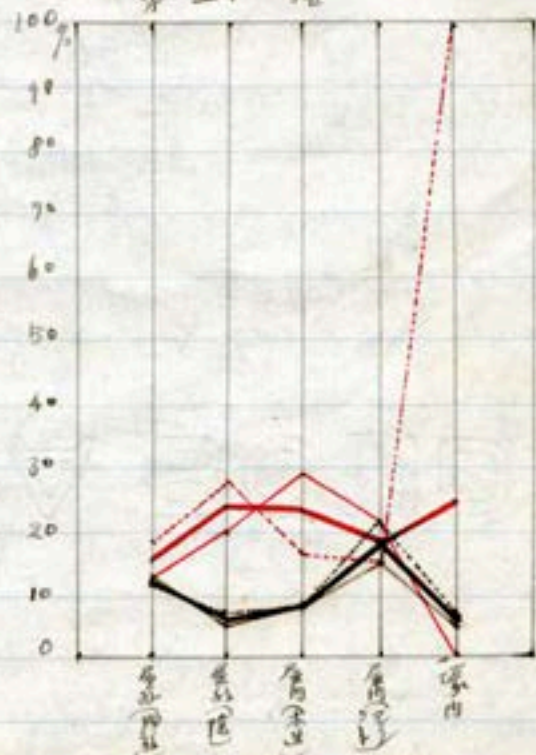
#### 第八十八表 (生名者194)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外(田舎)	286	39	13.6	259	30	11.6	545	69	12.7
"(市)	368	22	6.0	306	25	8.2	674	47	6.4
屋内(田舎)	1231	122	9.2	1817	171	9.1	3198	293	9.2
"(市)	337	54	16.0	439	94	21.4	776	148	19.1
屋内	130	7	5.4	197	15	7.6	327	22	6.7
計	2452	244		3068	335		5520	579	

#### 第八十九表 (死名者例)

環境	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
屋外(田舎)	32	4	12.5	36	7	19.4	68	11	16.4
"(市)	15	3	20.0	18	5	27.8	33	8	24.2
屋内(田舎)	96	28	29.2	88	15	17.0	184	43	23.4
"(市)	19	4	21.1	25	4	16.0	44	8	18.2
屋内	3	0	0	1	1	100.0	4	1	25.0
計	165	39		168	32		333	71	

#### 第三十一圖



結果

- 1) 「市」屋内は男に多し。次に屋外(市)の例。死名者でも大略同様と見られる。但し、略々大差が市内外に於て見られる。男に於ては多少なりとも。

第四節 損傷別 時令、年度

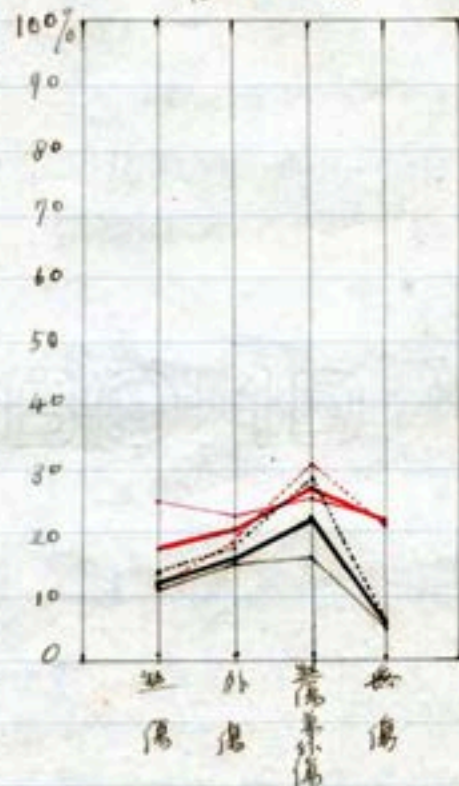
第九十表 (生存者例)

損傷	男			女			計		
	例数	割合	%	例数	割合	%	例数	割合	%
頭部	393	43	10.9	362	50	13.6	755	93	12.6
外傷	798	124	15.5	921	158	17.2	1719	282	16.4
熱傷	115	19	16.5	112	33	29.3	227	52	22.4
無傷	1146	58	5.1	1673	94	5.6	2819	152	5.3
計	2452	244		3068	335		5520	579	

第九十一表 (死亡者例)

損傷	男			女			計		
	例数	割合	%	例数	割合	%	例数	割合	%
頭部	40	10	25.0	46	5	10.9	86	15	17.4
外傷	59	13	22.8	55	10	18.2	112	23	20.4
熱傷	35	9	26.7	33	10	30.3	68	19	27.9
無傷	33	7	21.2	34	7	20.6	67	14	20.9
計	165	39		168	32		333	71	

第三十二圖



結果

- 1) 熱傷兼外傷 - 最も多し、熱傷  
 が多い。(生存者)、死亡者も  
 多い。同じく同じく
- 2) 生存者、死亡者、割合各層  
 ほぼ同じ。

## 第九章 頭痛 = 就

## 第一節 距離別 頭痛, 程度

第九十二表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	250	75	30.0	193	62	32.1	443	137	30.9
1~1.5	612	101	29.6	789	275	34.9	1401	456	32.5
1.5~2	352	69	19.6	506	68	13.4	858	137	16.0
2~3	749	98	13.1	990	154	15.6	1739	252	14.5
3~4	489	63	12.9	590	82	13.9	1079	145	13.4
計	2452	486	19.8	3068	641	20.9	5520	1127	20.4
4km 外	55	11	20.0	193	16	9.3	228	29	11.8

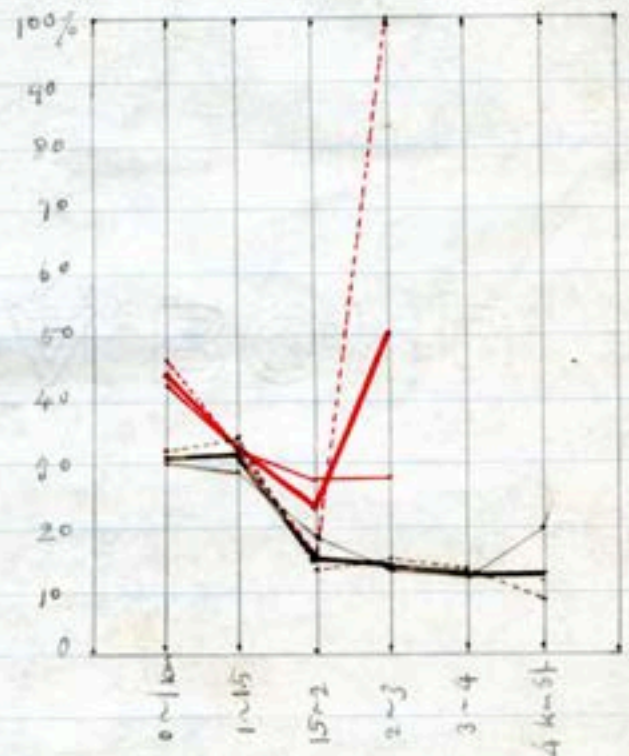
第九十三表 (死 2 名例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	49	42	42.4	93	43	46.2	142	85	44.3
1~1.5	45	14	31.1	60	19	31.7	105	33	31.4
1.5~2	14	4	28.6	12	2	16.7	26	6	23.1
2~3	7	2	28.6	3	2	100.0	10	5	50.0
計	165	62		168	67		333	129	39.0

## 結果

- 1) 近距離の少く割合が高いた  
3~4km, 4km 外を主として  
たがう。2人の女子環海は  
関係ない普通ノ頭痛が混  
入した結果である
- 2) 死 2 名・死 2 名 遠距離の上昇  
の割合ノ少くはメアアジウ
- 3) 生存者と死 2 名との 差異は極  
メア少く、意識ノ少くアア  
味スル。

第三十三 図



## 第一節 年齡別 頭痛 頻度

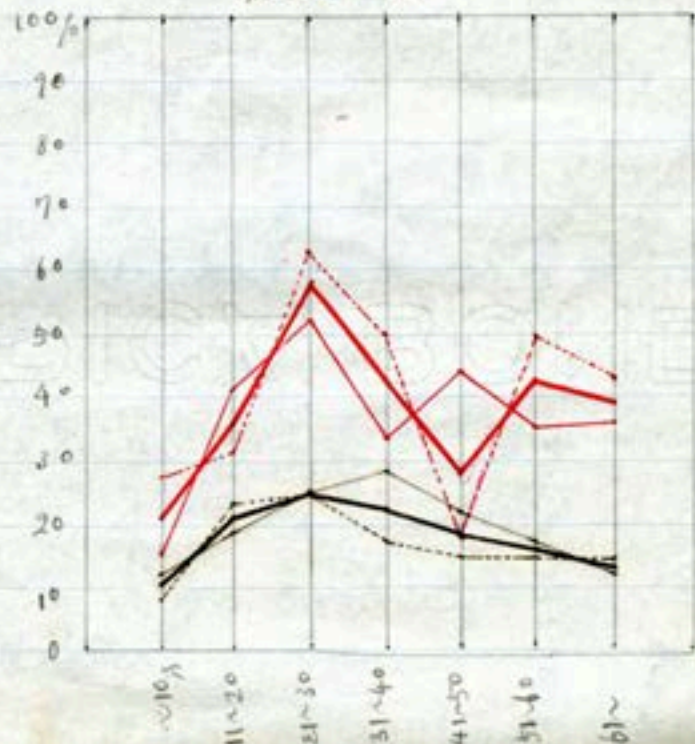
### 第九十四表 (生存者例)

年齢	男			女			計		
	例数	割合	%	例数	割合	%	例数	割合	%
~10才	257	32	12.5	258	22	8.5	515	54	10.5
11~20	1331	262	19.7	1608	384	23.9	2939	646	22.0
21~30	782	49	26.9	403	105	26.1	585	154	26.3
31~40	190	54	28.4	266	47	17.7	456	101	22.1
41~50	225	48	21.3	264	41	15.5	489	89	18.2
51~60	173	30	17.3	165	26	15.8	338	56	16.6
61~	94	11	11.7	104	16	15.4	198	27	13.6
計	2452	486		3068	641		5520	1127	

### 第九十五表 (死亡者例)

年齢	男			女			計		
	例数	割合	%	例数	割合	%	例数	割合	%
~10才	25	4	16.0	18	5	27.8	43	9	20.7
11~20	57	23	40.4	52	17	30.8	109	40	36.7
21~30	27	14	51.9	34	21	61.8	61	25	39.4
31~40	12	4	22.3	16	8	50.0	28	12	42.9
41~50	16	7	43.8	22	4	18.2	38	11	29.0
51~60	17	6	35.3	14	7	50.0	31	13	41.9
61~	11	4	36.4	12	5	41.7	23	7	30.1
計	165	62		168	67		333	129	

### 第三十四圖



### 結果

- 1) 60歳以上は、他、概々同様の傾向あり、頭痛の頻度、許す可い程度は、20歳代以降の少
- 2) 41~50才、1人2名と多い、1人偏重、結果と異なり、
- 3) 男女1名、一定計
- 4) 死亡者、生存者の頻度が大なり

第 三 十 五 回 環 境 別 頭 痛 頻 度

第 九 十 六 表 (全 体 名 例)

環 境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外 (雨前)	286	68	23.8	257	53	20.5	545	121	22.2
" (後)	368	66	17.9	306	67	21.9	674	133	19.7
屋内 (未通)	1231	248	19.0	1807	346	18.5	3178	594	18.5
" (2020-)	337	83	24.6	431	142	32.3	766	225	28.8
環 内	130	21	16.2	177	33	16.8	327	54	16.5
計	2452	486		3066	641		5520	1127	

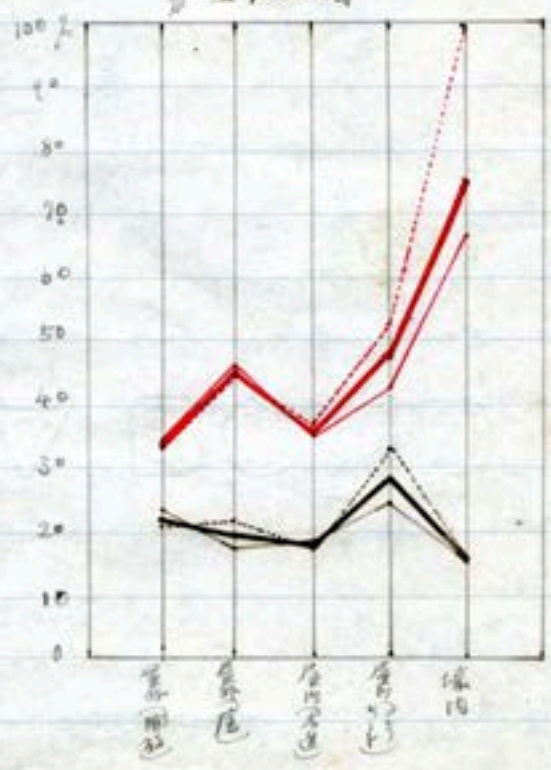
第 九 十 七 表 (50 名 例)

環 境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外 (雨前)	22	11	39.4	36	12	33.3	68	23	34.3
" (後)	15	4	46.7	18	8	44.4	33	15	45.5
屋内 (未通)	46	34	35.4	88	33	37.5	184	67	36.4
" (2020-)	17	8	42.1	25	13	52.0	44	21	47.7
環 内	3	2	66.7	1	1	100.0	4	3	75.0
計	105	62		168	67		333	129	

第 三 十 五 回

結 果

- 1) 「2020-」屋内が多(柱がPMMA) 何れも略:同じト見れ心でPMMA.
- 2) 2020- 頭痛が最も多い場所- 特有 12/7-7/1 2/4 表々スレト思心.
- 3) 男女1対1 明確がナシ.
- 4) 死之前、病室へ帰る 生活者少シト 大ザル



第四章 據傷別 頭痛 / 程度

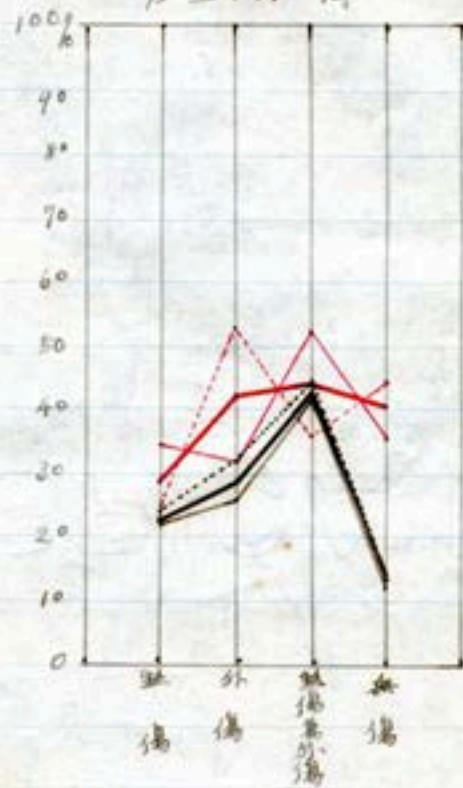
第九十八表 (生石角例)

損傷	男			女			合計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
頭傷	393	86	21.6	362	87	24.0	755	173	22.9
外傷	798	214	26.8	921	298	31.4	1719	504	29.3
頭傷兼外傷	115	47	40.9	112	49	43.8	227	96	42.3
其他傷	1146	139	12.1	1673	215	12.9	2819	354	12.5
計	2452	486		3068	641		5520	1127	

第九十九表 (生石角例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
頭傷	40	14	35.0	46	11	23.9	86	25	29.1
外傷	57	18	31.6	55	29	52.7	112	47	42.0
頭傷兼外傷	35	18	51.4	33	12	36.4	68	30	44.1
其他傷	33	12	36.4	34	15	44.1	67	27	40.3
計	165	62		168	67		333	129	

第三十圖



結果

- 1) 生石角の頭傷兼外傷 = 25.0%  
 多々外傷の生石角の頭傷の割合  
 同様に
- 2) 生石角の生石角の頭傷の割合  
 12.5%

# 第十章 腹痛 - 就テ

## 第一節 距離別 腹痛ノ程度

第一表 (生白名例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	250	36	14.4	193	22	11.4	443	58	13.1
1~1.5	612	69	11.3	789	112	14.2	1401	181	12.9
1.5~2	352	29	8.2	506	40	7.9	858	69	8.0
2~3	744	79	10.5	910	105	10.6	1654	184	10.6
3~4	489	39	8.0	590	63	10.7	1079	102	9.5
計	2452	252		3068	342		5520	594	10.8
4km以上	55	7	12.7	173	13	7.5	228	20	8.8

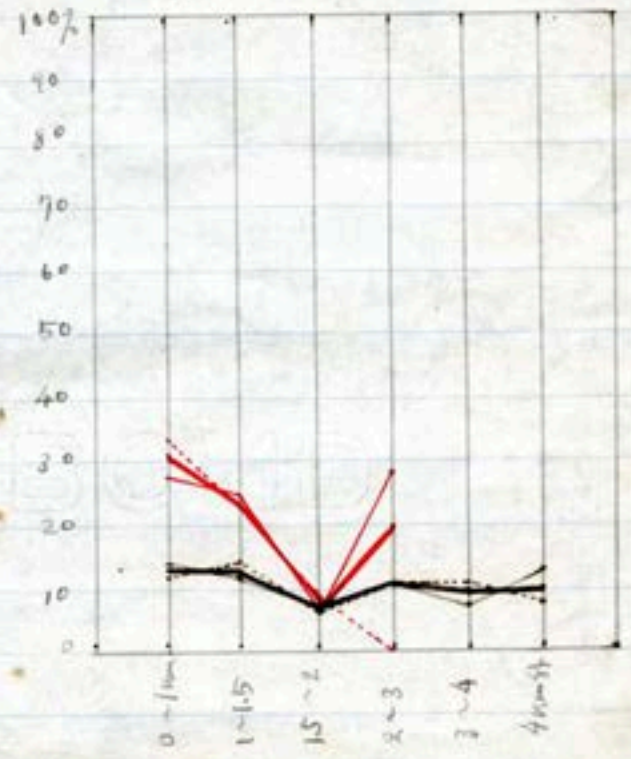
第一一表 (女之名例)

距離	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
0~1km	99	27	27.3	73	31	33.3	172	58	30.2
1~1.5	45	11	24.4	60	14	23.3	105	25	23.8
1.5~2	14	1	7.1	12	1	8.3	26	2	7.7
2~3	7	2	28.6	3	0	0	10	2	20.0
計	165	41		168	46		333	87	26.1

結果.

- 1) 近距離と遠距離と殆ど差がなす。生白名例の割合は加齢標準よりもかなり著明である。
- 2) 此の名例生白名例の腹痛の程度が高い。下痢と関係あると見られる。
- 3) 男女、差がなす。

第三十七圖





第二節 年齡別腹痛頻度

第一百二表 (正存者例)

年齡	男			女			計		
	例數	例數	%	例數	例數	%	例數	例數	%
~10岁	259	26	10.1	258	29	11.2	515	55	10.7
11~20	1331	157	11.3	1608	204	12.7	2939	355	12.1
21~30	182	12	6.6	403	40	9.9	585	52	8.9
31~40	190	20	10.5	266	27	10.2	456	47	10.3
41~50	225	23	10.5	264	15	5.7	489	38	7.8
51~60	173	15	8.7	165	13	7.9	338	28	8.3
61~	94	5	5.3	104	14	13.5	198	19	9.6
計	2452	252	10.3	3068	342	11.1	5520	594	10.8

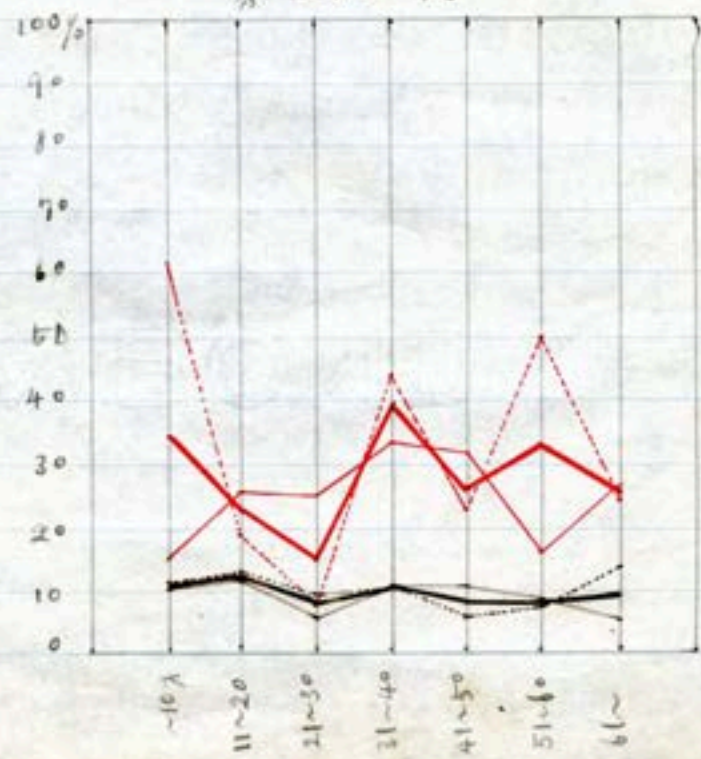
第一百三表 (SC 2名例)

年齡	男			女			計		
	例數	例數	%	例數	例數	%	例數	例數	%
~10岁	25	4	16.0	18	11	61.1	43	15	34.9
11~20	57	15	26.3	52	10	19.4	109	25	22.9
21~30	27	7	25.7	34	3	8.8	61	10	16.4
31~40	12	4	33.3	16	7	43.8	28	11	39.3
41~50	16	5	31.3	22	5	22.7	38	10	26.3
51~60	17	3	17.6	14	7	50.0	31	10	32.2
61~	11	3	27.3	12	3	25.0	23	6	26.1
計	165	41		168	46		333	87	

第三十八圖

結果

- 1) 年齡-腹痛頻度, 是A
- 2) 生白者上死已者上, 頻度
- 1天-僅少而已。



表三 环境别腹痛、腹胀

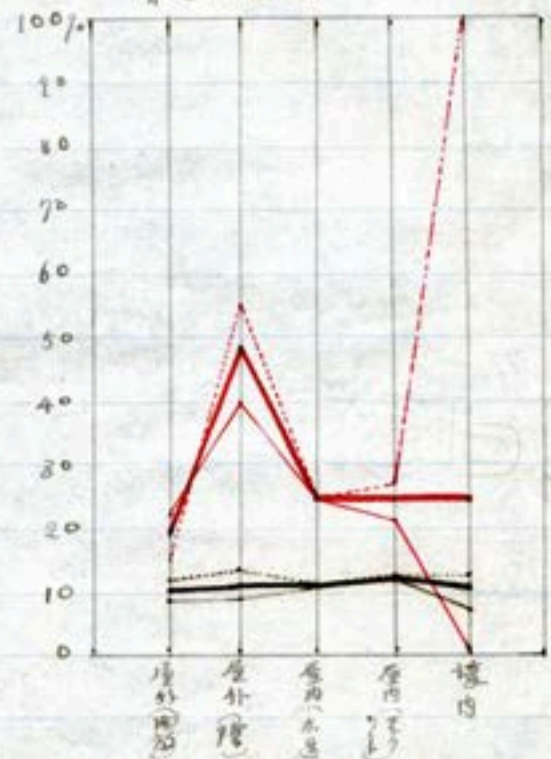
表白四表 (生名名例)

环境	男			女			总		
	调查数	例数	%	调查数	例数	%	调查数	例数	%
屋外(田边)	286	26	9.1	259	30	11.6	545	56	10.3
" (路)	368	35	9.5	306	41	13.4	674	76	11.3
屋内(木造)	1331	142	10.7	1867	193	10.3	3198	335	10.5
" (土造)	329	39	11.6	439	53	12.1	768	92	11.9
境内	130	10	7.6	197	25	12.7	327	35	10.7
总	2452	252		3068	342		5520	594	

表白五表 (女名名例)

环境	男			女			总		
	调查数	例数	%	调查数	例数	%	调查数	例数	%
屋外(田边)	32	7	21.9	36	6	16.7	68	13	19.4
" (路)	15	6	40.0	18	10	55.6	33	16	48.5
屋内(木造)	46	24	25.0	88	22	25.0	134	46	25.0
" (土造)	19	4	21.1	25	7	28.0	44	11	25.0
境内	3	0	0	1	1	100.0	4	1	25.0
总	165	41		168	46		333	87	

表三十九图



结果

1) 环境以田边及路为多。

362名于屋外路、377名于田边、

偶至/路旁、73名

2) 女、男均少腹胀度加人、

77名。

### 第四節 損傷別 腹痛，程度

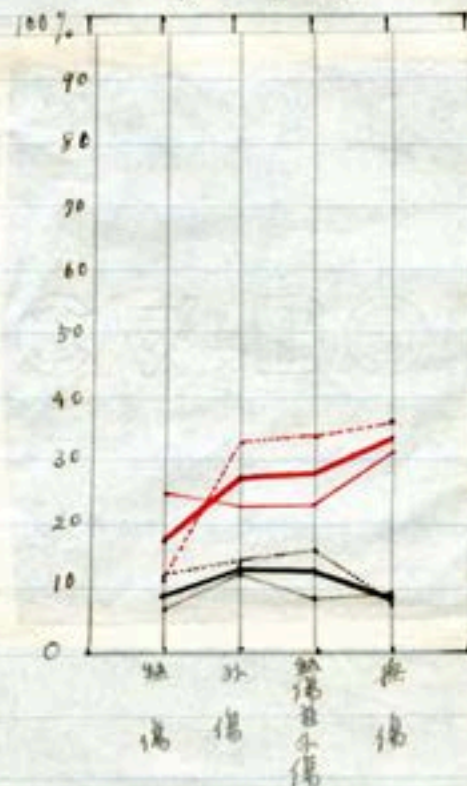
第一百六表 (生存者別)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
内傷	393	30	7.6	362	42	11.6	755	72	9.5
外傷	798	98	12.3	921	129	14.0	1719	227	13.2
内傷兼外傷	115	11	9.6	112	19	17.0	227	30	13.2
無傷	1146	113	9.9	1693	152	9.1	2839	265	9.4
計	2452	252		3068	342		5520	594	

第一百七表 (死亡者別)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
内傷	40	10	25.0	46	5	10.9	86	15	17.4
外傷	57	13	22.8	55	18	32.7	112	31	27.7
内傷兼外傷	35	8	22.9	33	11	33.3	68	19	27.9
無傷	33	10	30.3	34	12	35.3	67	22	32.8
計	165	41		168	46		333	87	

第十四圖



結果

- 1) 損傷，程度 = 死亡者別  
 死亡者別 × 20%
- 2) 生存者，死亡者別，程度，  
 死亡者別 × 10%

# 第十一章 喉下痛 - 肺炎

## 第一节 距離別 喉下痛 程度

第百八表 (生存者例)

距離	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0-1km	250	78	31.2	193	50	25.9	443	128	29.0
1-1.5	612	173	28.3	789	257	32.6	1401	430	30.7
1.5-2	352	47	13.4	500	64	12.8	852	111	12.9
2-3	744	70	9.3	990	135	13.6	1734	205	11.8
3-4	484	27	5.5	590	81	13.7	1074	108	10.0
計	2452	395	16.1	3068	587	19.1	5520	982	17.8
4km外	55	6	10.9	173	6	3.5	228	12	5.3

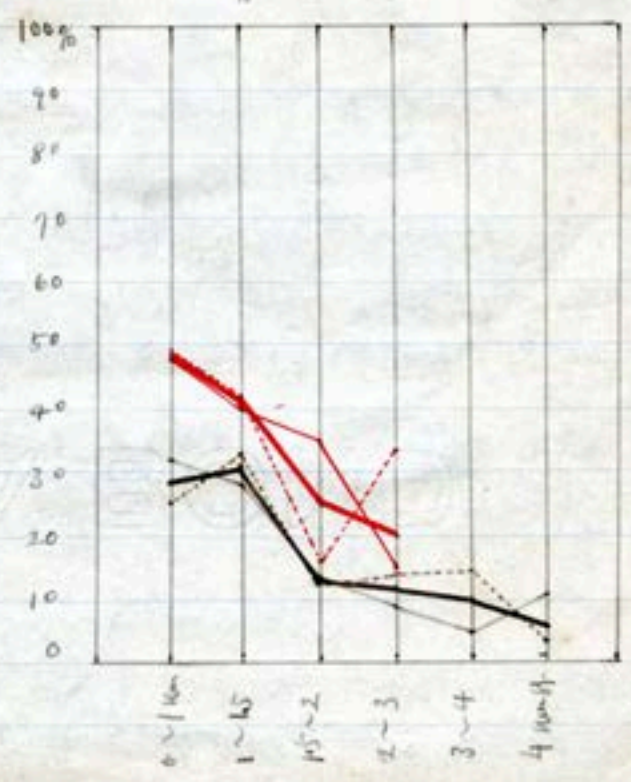
第百九表 (死亡者例)

距離	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
0-1km	87	47	47.5	93	46	49.5	180	93	48.4
1-1.5	45	18	40.0	60	25	41.7	105	43	41.0
1.5-2	14	5	35.7	12	2	16.7	26	7	26.9
2-3	7	1	14.3	3	1	33.3	10	2	20.0
計	165	71		168	74		333	145	43.6

### 結果

- 1) 距離別 程度 相違が あり、  
死亡者も 生存者の 程度が 高し。  
原上 環境 病中 重症 (注意) あり  
有 20211 - 5 - 211
- 2) 男女 別々 程度 あり

第四十一圖



表二 年齡別 喉下痛 頻度

表自十表 (生存名例)

年齡	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	257	20	7.8	258	24	9.1	515	44	8.5
11~20	1331	168	12.2	1608	333	20.7	2939	501	17.0
21~30	182	50	27.4	403	104	25.8	585	154	26.3
31~40	190	56	29.5	266	45	16.9	456	101	22.1
41~50	225	66	29.3	264	45	17.0	489	111	22.7
51~60	193	23	11.9	165	20	12.1	358	43	12.0
61~	94	12	12.7	104	16	15.4	198	28	14.1
計	2452	385		3068	589		5520	982	

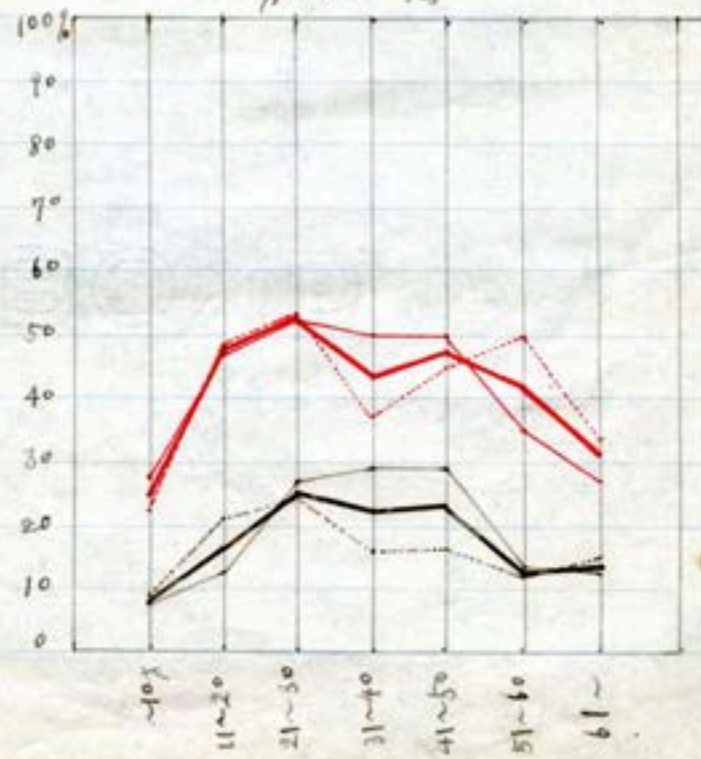
表自十一表 (死亡名例)

年齢	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
~10才	25	7	28.0	18	4	22.2	43	11	25.6
11~20	57	27	47.4	52	25	48.1	109	52	47.9
21~30	29	14	51.7	34	18	53.0	61	32	52.5
31~40	12	6	50.0	16	6	37.5	28	12	42.9
41~50	16	8	50.0	22	10	45.5	38	18	47.4
51~60	17	6	35.3	14	7	50.0	31	13	41.9
61~	11	3	27.3	12	4	33.3	23	7	30.4
計	165	71		168	74		333	145	

表自十二表

結果

- 1) 中年病者多し。  
幼児「軽症」・「疼痛」  
折り込み者少し。
- 2) 死亡者「頻度」・「生存者」  
比り少し。折り込み。



第三節 環境別吸烟下痛，頻度

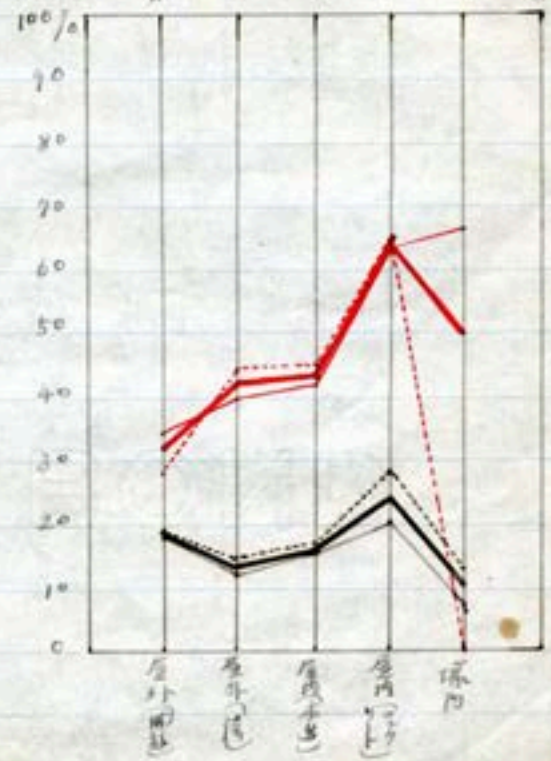
表十四 表 (女性名例)

環境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外(雨道)	286	53	18.5	259	50	19.4	545	103	18.9
" (店)	368	46	12.5	306	46	15.0	674	92	13.6
屋内(木造)	1331	219	16.5	1867	339	17.6	3198	558	17.4
" (2277)	339	67	20.2	439	126	28.7	778	193	24.7
屋内	130	10	7.6	197	26	13.2	327	36	11.0
計	2452	395		3068	587		5520	982	

表十五 表 (女性名例)

環境	男			女			計		
	例数	例数	%	例数	例数	%	例数	例数	%
屋外(雨道)	22	11	34.4	26	10	27.8	68	21	31.3
" (店)	15	6	40.0	18	8	44.4	33	14	42.4
屋内(木造)	76	40	41.9	88	40	45.5	164	80	43.4
" (2277)	19	12	63.2	25	16	64.0	44	28	63.6
屋内	3	2	66.7	1	0	0	4	2	50.0
計	165	71		168	74		333	145	

表十四 圖



結果

- 1) 「2277」屋内 - 最も多い。其理由は物然なり。
- 2) 全体的に、男より女 - 多い傾向が顕著な高シワアキル。
- 3) 全体的に死に名付 / 傾向、若くは「ヤ」大なり。

第四節 損傷別 噸千痛 (頻度)

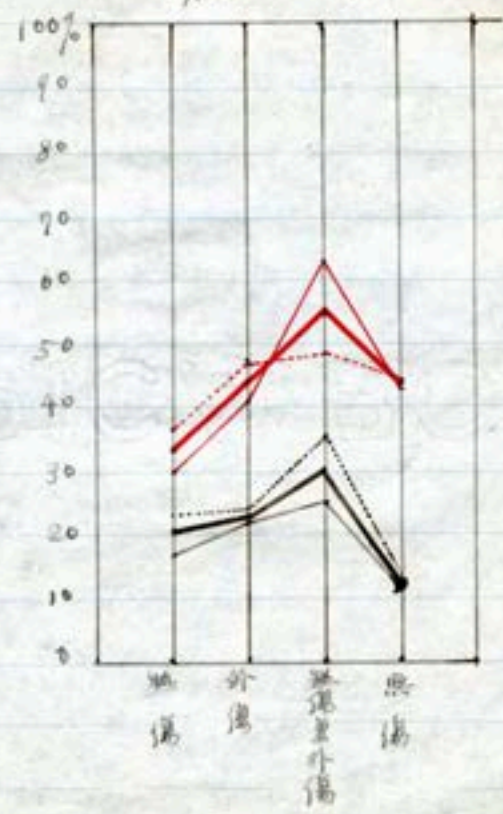
表百十四 (生石有例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
無傷	393	68	17.3	362	84	23.2	755	152	20.1
外傷	298	172	21.5	921	234	24.3	1719	406	23.6
損傷兼外傷	115	29	25.2	112	40	35.7	227	69	30.4
無傷	1146	126	11.0	1673	229	13.7	2819	355	12.5
計	2452	395		3068	587		5520	982	

表百十五 (生石有例)

損傷	男			女			計		
	調査数	例数	%	調査数	例数	%	調査数	例数	%
無傷	40	12	30.0	46	17	37.0	86	29	33.7
外傷	57	23	40.4	55	26	47.3	112	49	43.8
損傷兼外傷	35	22	62.9	33	16	48.5	68	38	55.9
無傷	33	14	42.4	34	15	44.1	67	29	43.3
計	165	71		168	74		333	145	

表百十四 圖



結果

- 1) 無傷兼外傷 = 最も多い。  
 かつ損傷の重篤は「損傷」に現  
 出現率が大なり。
- 2) 20才以上の女は男より大なり  
 なり。

第五節 口内表 / 出現期

表十七 (男、女之別例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当月 = 初22日	7	14.4	2	11.1	1	20.0	0	0	10	14.1
第1週 = "	10	29.8	6	33.3	0	0	0	0	20	28.2
第2週 = "	5	10.6	2	11.1	1	20.0	0	0	8	11.3
第3週 = "	7	14.9	3	16.7	1	20.0	0	0	11	15.5
第4週 = "	3	6.4	4	22.2	0	0	0	0	7	9.9
第2月 = "	1	2.1	1	5.6	0	0	1	100.0	3	4.2
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	10	21.3	0	0	2	40.0	0	0	12	17.0
計	47		18		5		1		71	

表十八 (女、男之別例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当月 = 初22日	4	8.7	0	0	0	0	0	0	4	5.4
第1週 = "	21	45.6	7	28.0	1	50.0	0	0	29	39.2
第2週 = "	7	15.2	1	4.0	0	0	0	0	8	10.8
第3週 = "	3	6.5	2	8.0	1	50.0	0	0	6	8.1
第4週 = "	4	8.7	9	36.0	0	0	0	0	13	17.6
第2月 = "	0	0	0	0	0	0	1	100.0	1	1.4
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	7	15.2	6	24.0	0	0	0	0	13	17.6
計	46		25		2		1		74	

表十九 (男女合計、女之別例)

出現期	0~1km		1~1.5		1.5~2		2~3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
当月 = 初22日	11	11.8	2	4.7	1	14.3	0	0	14	9.7
第1週 = "	35	37.6	13	30.2	1	14.3	0	0	49	33.8
第2週 = "	12	12.9	3	7.0	1	14.3	0	0	16	11.0
第3週 = "	10	10.8	5	11.6	2	28.6	0	0	17	11.7
第4週 = "	7	7.5	13	30.2	0	0	0	0	20	13.8
第2月 = "	1	1.1	1	2.3	0	0	2	100.0	4	2.9
第3月 = "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	17	18.3	6	14.0	2	28.6	0	0	25	17.2
計	93		43		7		2		145	

結果

第1週 = 現況の21日 最多ト出現期。第2週、第3週 = 初22日 少クシテ。  
 第4週 = 初22日 相当ノ少クシテ。近距離ヲ以テ 早ク出現スルニシテ 殊ニ其レ。



第六節 口内炎の種類

表十九 (男、死亡者例)

口内炎の種類	0-1mm		1-1.5		1.5-2		2-3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
口内炎	26	55.3	6	22.3	2	40.0	1	100.0	35	49.3
歯齦炎	12	25.6	5	27.8	0	0	0	0	17	23.9
咽喉炎	25	53.2	2	44.4	3	60.0	0	0	30	50.7
扁桃腺炎	14	27.8	5	27.8	0	0	1	100.0	20	28.2
喉下痛	29	61.7	10	55.6	3	60.0	1	100.0	43	60.6
その他	3	6.4	1	5.6	0	0	0	0	4	5.6
口内炎の総例数	47		18		5		1		71	

表二十 (女、死亡者例)

口内炎の種類	0-1mm		1-1.5		1.5-2		2-3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
口内炎	26	56.5	4	20.0	1	50.0	1	100.0	32	50.0
歯齦炎	5	19.2	5	25.0	1	50.0	0	0	11	18.9
咽喉炎	25	54.3	2	10.0	1	50.0	1	100.0	29	46.0
扁桃腺炎	14	29.2	5	25.0	0	0	0	0	19	30.0
喉下痛	29	61.7	10	50.0	3	100.0	1	100.0	43	66.7
その他	3	6.4	1	5.0	0	0	0	0	4	6.3
口内炎の総例数	46		25		6		2		79	

表二十一 (男女合計、死亡者例)

口内炎の種類	0-1mm		1-1.5		1.5-2		2-3		計	
	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
口内炎	52	55.7	10	34.7	3	42.9	2	100.0	72	48.7
歯齦炎	20	21.5	10	23.2	1	14.3	0	0	31	21.4
咽喉炎	50	57.0	17	44.2	5	71.4	1	50.0	73	52.8
扁桃腺炎	29	31.2	14	32.6	0	0	1	50.0	44	30.3
喉下痛	58	67.0	23	52.5	5	71.4	1	100.0	87	66.5
その他	3	3.2	1	2.3	4	0	0	0	8	5.7
口内炎の総例数	93		43		13		4		154	

結果

2) 統計の医師の實際に診察して診断されたものを分析する。便価が少くとも、その口内炎の咽喉炎は、喉下痛が4つ、要人的に、歯齦炎は扁桃腺炎の併発して、学術上の診断に少くなく、その結果。